FRUiTS 3月号　通巻20号　1998年3月1日発行（毎月1回1日発行）平成10年8月28日第三種郵便物認可

FRUiTS

3 1999 フルーツ

No.20

500yen



大阪アメ村スタイル

原宿フリースタイル

contents

fruits-mg.com

january.1999



2／11～SPRINGフェアー開催!!

1万円以上お買い上げの方にノベルティをプレゼント

XXXL

SUPER LOVERS

OLD SKOOL





原宿 Free Style

コート：古着
セーター：ママの
スカート：古着
シューズ：ママの
バッグ：ママの
メガネ：してないよ
帽子：そこ
ファッションのポイント：いつもとちゃう。
美容室：行かず
今ハマッている事：はちみつ と あいさま♡
好きな音楽：しらない
おばあさん（19才）、大学生

上着：まーちゃんの
パーカー：あさひや
スカート：バレフランス
シューズ：まーちゃんの
バッグ：よーこのてあみ
マフラー：ぴょんのてあみ
帽子：うちのちかくで
ファッションのポイント：きぶくれ名人
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：ななえラブ♡たんじょう日
好きな音楽：おべんきょう中
あいぴょん（17才になった）、おひめさまチーム副リーダー


エンジェル



コート：古着
シャツ：古着
シューズ：ヴィヴィアン ウエストウッド
バッグ：ヴィヴィアン ウエストウッド
ファッションのポイント：キャンディキャンディヘアー
今ハマッている事：妄想ごっこ
好きな音楽：かわいい曲
あや（20才）、フリーター



上着：national standard
バッグ：MILK
マフラー：てあみ
ファッションのポイント：　Pink
美容室：自分で
好きな音楽：SOBUT
古屋貴和（17才）、高校生



セーター：メーカーなし，地もとで
ワンピース：COUPDETAT
シューズ：コージ クガ
バッグ：cache
ファッションのポイント：シンプル
美容室：彼氏に切ってもらってる，
今ハマッている事：ディズニーランド
好きな音楽：なんでも
みらい（18才）、高校生


上着：古着
シャツ：AGのTシャツ２枚
パンツ：LET IT RIDEのハーフパンツ
シューズ：オールスター
バッグ：イザック
ファッションのポイント：コ
美容室：友達
今ハマッている事：おんがく
好きな音楽：ハードコア
ユウ（20才）、フリータ
上着：古着
トレーナー：チャンピオン
パンツ：古着
シューズ：ピジョン
帽子：カブー
美容室：自分
今ハマッている事：バンド
好きな音楽：ハードコア
ウチ（22才）、フリーター



セーター：古着（彼にもらった）
スカート：デプラスモン（お店）
シューズ：adidas
バッグ：彼にもらった
ファッションのポイント：テキトウ
美容室：VOLUME(エクステンション)
今ハマッている事：少女マンガ読書
好きな音楽：スカコア、ハウス
宮原さおり（19才）、美容専門学校



ジャケット：ダブルショック
パンツ：エビスジーンズ
シューズ：なんちゃってラバーソール
ファッションのポイント：なんとなく
美容室：アトリエマイ
今ハマッている事：ポーカー
好きな音楽：ラルク
ヨッチ（18才）、専門学校生

ファッションのポイント：透明感
美容室：GIGA
今ハマッている事：ファッションの先を行く
好きな音楽：WADE
コータマン（19才）、学生



コート：3900円
スウェット：800円
パンツ（上）：100円
パンツ（下）：もらった
シューズ：弟の
ファッションのポイント：こぎたなぁーく
美容室：VOLUME ciper
今ハマッている事：料理
好きな音楽：ミクスチャー
本田まこと（21才）、眠々
ーーーしめて4800円なり



コート：ない
上着：ロンドンで
スカート：自作
シューズ：NIKE(まぶしい)
アクセサリー：じゅず
バック：GUCCI
メガネ：ない
帽子：なぞのインドや
ファッションのポイント：さぎし
美容室：カットモデル（けんさんいつもありがとぉ）
今ハマッている事：友達づくり、コンフレーク
好きな音楽：ハイスタ、ハウス（DJ MEIよろしく）
はつき（17才）、高校生



上着：古着
シャツ：インド屋SANで
スカート：ホブソンのベルボ
シューズ：エルダンデスのウエスタン調厚底
バッグ：代官山のH
美容室：1年位いってない。1年前地元大坂
今ハマッている事：ボディピアス
好きな音楽：マリリン・マンソン、hide
みつきけいこ（23才）／フリーター



コート：スーラバァ
シャツ：ビィビィアン
スカート：スーラバァ
シューズ：ビィビィアン
バッグ：ビィビィアン
美容室：ガールラブズボーイ
（13才）、中学生



パンツ：リーバイス
シューズ：レッドウイング
美容室：フラッシュ
今ハマッている事：音楽
好きな音楽：HIP HOP
哲也（23才）、フリーター



コート：フリーマーケットで
セーター：フリーマーケットで
パンツ：フリーマーケットで
シューズ：フリーマーケットで
アクセサリー：エンピツ（借りもの）
ファッションのポイント：ブラックジーンズ
美容室：パートナーに切ってもらってます
今ハマっている事：アヨガ
好きな音楽：おしつけがましくない音楽
タムタム（23才）、Tシャツ作ってます。

上着：古着
シャツ：Tシャツ オリジナル「SAMPLE(SS)」
パンツ：古着
シューズ：古着
バッグ：古着
メガネ：GUCCI
ファッションのポイント：ラフ、バロック
美容室：自分で
今ハマっている事：価値を理解できなくても認めあうこと
好きな音楽：空気にうまくのる音楽
１９０（24才）、服作り手



上着：弟の無印
パンツ：ギャル店（地元）
シューズ：コンバース
バッグ：いえにあった
マフラー：日暮里で
ファッションのポイント：社会人スタイル、ママ手作りマフラーまいてあったかーく。
今ハマッている事：最近お料理好スキになった
好きな音楽：はやいの
ユウ（17才）、もうすぐ大人

コート：テプラスモン（古着）
スカート：タイガー
シューズ：ゲッタグリップ
ブーツバンド：ジムズイン
タイツ：M'sQ
ファッションのポイント：あったかく
美容室：自分でやる。
今ハマッている事：食ツアーと手袋（人のかりたらハマッた。あったかい）
好きな音楽：80SHC、DISコア、BALZAC
れいこ（16才）、口内炎8コ



パンツ：エドウィン？
シューズ：ローラーブレード
アクセサリー：ESPACE CHIC
バッグ：NORTH FACE
ファッションのポイント：ラフ
美容室：ルージュ
今ハマッている事：服づくり
好きな音楽：ドラムアンドベース、ハウス
TAI IKEZAWA（19才）、専門学校生



上着：ヒステリックグラマー
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：ニセコンバース
バッグ：エマニエル
帽子：P'で買った
ファッションのポイント：ヒョウ柄マフラー（自作）
今ハマッている事：ウルトラマン最高
好きな音楽：ROCK
スグル（18才）、高校生



セーター：Hope Chest（店）
パンツ：Hope Chest（店）
シューズ：ナイキ
バック：JOINT（店）
帽子：Hope Chest（店）
ファッションのポイント：Hope Chest
美容室：友達
今ハマッている事：ディジュリドゥー
好きな音楽：アンビエント、DiGi
モリス（19才）、大工



上着：古着
パンツ：ジュピター
アクセサリー：カナがつくったヘアバンド
美容室：モッズヘアー
【22】、美容師



コート：スリーベット（かりもの）
シャツ：クリストファー ネメス
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：イアンリード
ファッションのポイント：さむくないよーに
美容室：カットボーイ
今ハマッている事：モデルハント
好きな音楽：いろんなの
ひらいよーすけ（23才）、びようし



ベスト：パタゴニア
シャツ：Do Family
シューズ：アディダス
帽子：自分で作った
美容室：パノラマ
今ハマっている事：帽子作り
好きな音楽：SOUL
（23才）、美容師



コート：ジェーンマープル
シャツ：ベティーズブルー
スカート：竹下通りで
シューズ：竹下通りで
バッグ：ベティーズブルー
ファッションのポイント：ユキグルマチックに。
美容室：じぶん
今ハマっている事：バンドくんでるコト。
好きな音楽：JUDY AND MARY
ゆりり（16才）、高校1年生



コート：ベティーズ ブルー
上着：クラッチ
シャツ：ジェーンマープル
シューズ：ミホ♡マツダ
バッグ：ひみつ
帽子：わかりません
ファッションのポイント：ピンク赤
美容室：SPIN
今ハマッている事：セクシーユージ
好きな音楽：GLAY、JAM
ゆーこ（17才）、高校生



上着：古着
パンツ：下北沢（1堂）
シューズ：ミハラさんにもらいました。
アクセサリー：皮のバンドは松岡さんに作ってもらいました。
美容室：あやちゃん
今ハマッている事：靴づくり＆企画
ヤナギ（21才）、靴屋



上着：レッセパッセ
シャツ：W&LT
パンツ：古着
ファッションのポイント：青好き
美容室：VOLUME
今ハマッている事：健康に気づかうこと
好きな音楽：ハウス
関 繁、販売


e hyphen 66 sixty-six
LONDON
ロクロク
66
左モデル トップス ターゲットロングTシャツ ¥6,800- ボトムス ツイルプリーツ スカート ¥8,800- パッセンパンツ ¥9,800-
右モデル トップス インターシャ ドクロセーター ¥9,800- ボトムス パッセンプリーツスカート ¥9,800-
Models by Rie Endo Kumiko Takamori ★ Photography by Akiko Nogami ★ Styling by Miyuki Ushiroda ★ Assistance by M.Ozaki
#602 2-34-21 Jingumae Shibuya-ku Tokyo Japan CROSS COMPANY INC. TEL.03-5770-5556



上着：古着
セーター：古着
スカート：古着
シューズ：FILA
美容室：お友達
好きな音楽：ハウス
金（キン）（19才）、美容師



コート：Pretty
ブラウス：Pretty
スカート：Pretty
シューズ：ラフォーレで
ファッションのポイント：くまさんとその仲間!?（ケガ中…）
美容室：ストリート
今ハマッている事：パンダ
好きな音楽：ハウス
ふじこ（20才）、販売員



上着：りょうちゃんにかりました
スカート：かすみちゃんにかりました、花がらは手作り
シューズ：お姉ちゃんの
バッグ：ミルク、毛糸のは編みました
帽子：さっき買った
ファッションのポイント：あったかく!!
今ハマッている事：あみもの
好きな音楽：ジュディマリ
ちさと（18才）、高校生



[illegible]
[illegible]
ニット：くちゃくちゃ
シューズ：コージクガ
バッグ：作った
ファッションのポイント：のっぽっぽ♡
美容室：ソラリスと自分
今ハマっている事：CDを買う，人生を考える
好きな音楽：ハウス
さら（17才），フリーター



今回のインタビューは、過激なエクステンションで有名な美容室COO;YAのGOUさんです。お店は新宿三丁目の雑居ビルの三階。二人の雑談のようになっちゃいましたけど、面白かったです。

COO;YA



GOU

GOU　どうですか？　ちょっとすごいでしょう、店内。

FR　ええ、すごいですね。

GOU　去年1年の作品なんですよ、全部。

FR　すごくいい感じですね。

GOU　みんなで作ったんですけど、「退廃と脱出」というテーマなんです。こっちが「コンピューターの退廃」ということで、こっちが「コンクリートビルディングの退廃」。金網から向こうが、異世界で、こっちの現世界に向かって伸びてくるものがあるというもの。オアシスが欲しいなと思って、唯一水が出るシャンプー台にオアシスを作ったんです。待合いのスペースは完全な別個の世界として独立したものとして作ったんです。そんな感じで遊んでます。（笑）オアシスは、生命の誕生ということで、卵から子供になるまでを描いたんです。死ばっかりじゃなくて生もあるはずだから、生をオアシスに意識して。もらいもんが多いんですけどね。知り合いから、ディスプレーでいらないんだったらちょうだいとか言ってもらってきたり。（笑）

FR　店はいつからなんですか？

GOU　オープンしたのは、ちょうど2年前ですね。僕がロンドンから帰ってきたのが2年と10ヶ月前なんです。ロンドンから帰って10ヶ月間、東京で働こうかなと思って探したんですけど、僕を受け入れてくれるところがなくて。美容室のオーナーと話をしてて「そこまで考えがまとまってるんだったら、お店オープンしたほうがいいよ」って。（笑）

FR　そうなんだ。

GOU　日本が嫌いでロンドンに行っちゃったんですよ。どうして嫌いかっていうと、僕はどうしてもモノを作る側の人間であり続けたいという意志を持ってたんですよ。でも、日本ってどうしても流れ作業的なことが多くて。1人のお客さんに対して何分で終わらせろとか、そういうことってすごく多いじゃないですか。でもお客さんは1ヶ月に1回、2ヶ月に1回しか来ないわけだから、モノを作る側の意識として作ってあげたいんです。でもお店とのギャップがある。そういうことがあって、すごく日本が嫌になって、美容っていう仕事ってこんなにつまんないのっていう話を自分の中でしてて。

僕がインターンの時に見た向こうの写真があったんですよ。ロンドンのストリートを撮ってる写真で、こんな人たちが平気で街を歩いてる国があるんだって、すごく感動を覚えて。いつかは行ってみたいって思っていて。日本で某大手サロンで4年間くらい働いて、スタイリストくらいまでやってたんですけど、どうしても納得いかなくて。それで、勇気を出してロンドンに行ってみようと。英語もしゃべれずに行ったんですけどね。

FR　どれくらい行ってたんですか、ロンドンに。

GOU　3年間です。

FR　そんなに行ってたんですか。

GOU　頭までどっぷり漬かってしまいましたね。

FR　向こうでは美容師をやってたんですか。

GOU　ヘアメイクとサロンワークをずっとやってたんです。

FR　ロンドンに行く前は東京ですか？

GOU　東京です。

FR　GOUさんは、ずっと東京ですか？

GOU　そうですね、ずっと。両親は茨城ですけど。

FR　今、お幾つなんですか？

GOU　今、29才です。

FR　27才で店を始めて。

GOU　24才から27才までの間はロンドンです。

FR　20才くらいから美容師を始めたんですか？

GOU　19才で美容の世界に入って、某大手サロンで働いて。自分の中にわだかまりを持ったままロンドンに行ったら、ロンドンでそのすべてが解消されて。（笑）なんだ、俺の考えってあってるんじゃないかって。

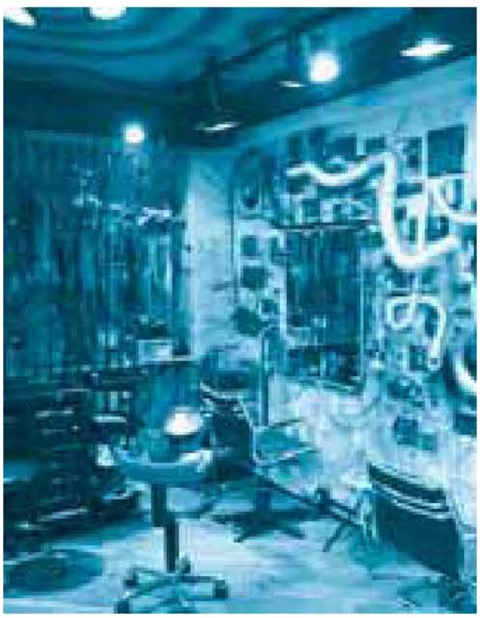
FR　ああ、そうなんだ。

GOU　向こうってモノを作るっていう意識がすごく強いじゃないですか。例えば、家の



上着：CYBER DOG
パンツ：CYBER DOG
シューズ：S-WEAR
ファッションのポイント：青色
美容室：COO-YA
今ハマっている事：バンジージャンプ
好きな音楽：WARP HOUSE、Acid、TRANCE
GOU（?才－当てて下さい）、美容師

所に美容室があってもいいんではないのかなって。
FR　それはいいと思いますよ。何か、未来な感じしますよね。
GOU　発想の逆転だったんですよね、実は。ずっと日本にいる人たちからすれば、「それじゃ無理だろう」と言われまくってたんですけど。だれもまだやったことがない、でもやってみたい。それと、新宿の服飾関係の学校とか、コンピュータグラフィック関係の学校とかが多いのに、どうしてモノを作る側で仕事をする美容室って少ないんだろうって。どうしても原宿にみんな行ってしまうじゃないですか。原宿に友達が多いんで、「原宿来い、原宿来い」って言われてるんですけど、「そのうち行くよ、でもその前に、ちょっと試させてくれ」って。
FR　飲食が入れるようになってる所だから、家賃はそんなに安くないんじゃないですか？
GOU　そうですね、やっぱり。保健所が最初に来た時に、もうびっくりされて。新宿ってこういう店ってないんですよ。「本当に、ここ、美容室なんですか？」って言われて。そういうことで何回も保健所に行って、戻ってきては改良して、また行って。
FR　そうなんですか。何かいけないことっていうのがあるんですか？　水回りがちゃんとしてればいいんじゃないんですか？
GOU　水回りと、消毒関係もしっかりしなくちゃいけないし。
FR　自分で許可申請に行くんですね。難しいですか。
GOU　うるさいですね。それと細かいです、お役所仕事は。
FR　その格好で役所に行くと、びっくりしますでしょう。
GOU　ここで働くって、いわゆるインターン証明とか取りに行くと、「あ、クーヤさんですか」って、頭を見て言われるみたいで。（笑）
僕がエクステンションとかを始めた理由も、従来のカットからパーマカラーをやると、どうしても行きつくところって似通ったスタイルが多くなってくるんですよ。何とか打破できないかなということで、エクステンションをつければ、それでスタイルが180度変わってしまうものなので。今、エクステンションと、従来あるものをミックスして、デザイン性のあるものを生み出せたらなって考えてるんですけどね。
FR　お客さんは、ほとんどみんなエクステンション？
GOU　いや、そうでもないですね。
FR　普通のカットもしてるんですか？
GOU　普通の子も半分以上はいます。いつもアンテナを張り巡らせている子たちと、あとは本当に普通の子たち。普通の子のほうも多いんです。



FR　へえ、でも普通のお客さん、入ってくるんですか？
GOU　はい。面白いですよ。この中で、ギャルの子たちと、
FR　ギャルの子いるんですか？
GOU　はい。ギャルの子たちと、エクステンションつけてる子たちと、普通の状態では絶対接点がない子たちが話をしている。「それ、いいね」ってギャルの子が言えば、エクステンションをつけてる子も、「そのヒョウ柄コートいいね」って。すごく面白い光景がこの中で繰り広げられるんですよ。
FR　ギャルの子は、どういう接点でここに入ってくるんですか？
GOU　やっぱり、僕が作った頭を見て、「どこでやったの、その色」とか、そういうので紹介されてくる子たちですよね。一回ギャルの子たちが来ると、その子たちが友達を呼んでくるみたいなかたちで。
僕、偏った仕事ってしたくないんですよ。全部がヘアデザインだと思うし、もちろんこういうエクステンションスタイルもヘアデザイン、普通のカットスタイルもヘアデザイン。三つ編み関係もヘアデザインだと思うんですよ。ヘアに関してはいつもプロフェッショナルでいたいんですよ。何ができないとか、この色は出せないとかっていうのはすごく嫌いだから。自分自身もすごく猛勉強してるし。やっぱり、プロフェッショナルっていう言葉を出して仕事をしてるわけだから、全部のニーズに応えながら仕事しなくちゃいけないと思ってるんで。オールマイティーに来てくださいっていう感じです。
FR　ああ、それはよかった。みんなエクステンションしなきゃいけなかったら大変ですよね。
GOU　いや、全然そんなことないですよ。普通の子たちも全然多いです。
FR　一番最初のお客さんってどういう人だったんですか？　友達とか？
GOU　最初は、もうひたすらビラ配りしましたね。まず場所をわかってもらうことが第一で。
FR　新宿で？
GOU　新宿も行ったし、渋谷も行ったし、原宿も行ったし。そのビラを見て何人か来てくれて。またその友達が来てくれてって、そこからいろいろつながりを広げていってっていうかたちですね。
FR　すごいな。ビラでここまで来ないですよね、なかなか。
GOU　そうですね。
FR　パワーなかったらね。やっぱり配って

内装にしても、自分たちで日曜大工でやってしまう。

FR　美容室とか、お店も全部自分たちでやりますよね、基本がね。

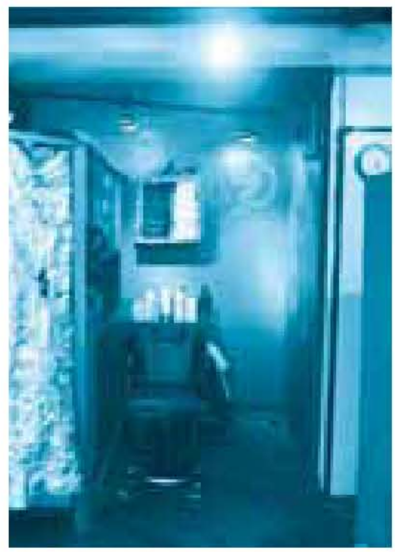
GOU　全部自分たちでやる。そうしないと、どうしても自分たちのカラーって出ないじゃないですか。で、周りにそういうモノを作る意識を持ってる子たちがいっぱいいてくれて、その中で僕も刺激されて、「聞いてよ、俺は日本でこういうわだかまりを持ってたんだよ」って言って。で、やっぱり間違ってなかったなって。

日本に帰ってきて、まず最初に始めたのがマンウオッチングなんですよ。渋谷の公園通りに座って、マック食いながら人を見てて。3年間浦島太郎状態で帰ってきたんで。（笑）それで、日本でどんなのが流行ってるんだろうってリサーチをして。自分が思っているものと、今日本で求められているものと、どこら辺で接点があるんだろうということから始めて。

僕がロンドンに行く前までは、例えば雑誌でタレントさんのヘアーが流行ると、もうみんながこぞって、このヘア、このヘア、このヘアって、みんな同じになってしまう。でも、今、徐々に日本の若い人たちは変わり始めてきてて。うちに来てるお客さんとかもそうなんですけど、自分がこれをやりたいからやる、そういう感覚。ロンドンとかニューヨークとかの考え方に近づいてきてるなって。個性っていうのを最初に出して、それで自分のファッション、生活、すべてがついてくるっていうことがね、すごくうれしいですよね。

FR　そうですよね。ロンドンではどこの美容室だったんですか。

GOU　チルドレン・オブ・ビジョンっていう、ケンジントンマーケットの中に入ってる美容室で。その前にちょっとトニガイのほうにもいたんですけど。アッパーグラウンド、アンダーグラウンド、両方を勉強したかったんです。両方を自分の中に一回取り入れて、その中間で自分なりにアレンジして、アッパーとアンダーのいいところを出していきたいなという考えがすごくあったんです。そのあとに、ソーホーにあるヘッドクオーターズっていう所に行って。なぜかっていうと、外人の頭をずっと切ってるわけじゃないですか。で、ある日、飛び込みで日本人の子が来たんですよ。僕が必然的に入らされることになって。そうしたら、グラデーションの位置、レイヤーの位置、重さ、すべてが違うんですよ。今までやってきた外人の頭と。で、カットにすごく時間がかかってしまって。うわっ、これじゃいけない、と。日本に帰ってから日本人の頭が切れなくなってしまうっていう焦りがあって。それでソーホーにあるヘッドクオーターズっていうお店に移って。そこはイギリス人とオリエンタル（中国人、日本人）の半分半分の客層だったんですよ。そういう店をずっと探していて。そこで、また更に日本人の頭ってなんて難しいんだろうっていうのを実感させられて。



あとは雑誌とか、ショーの手伝いとか、ヘアメイクのほうもやってたんです。

FR　もうキャリアは10年くらいになりますよね。

GOU　そうですね。10年以上たちますね。何だかんだあっと言う間に。（笑）

FR　30才前で10年のキャリアって、けっこうそういう人多いけど、すごいですね。

GOU　なんか、好きなこと、好きなこと、好きなことって、自分はこうしたいっていうのを最終的に実行してきたんですよね。周りの考えも聞くんですけど。例えばこのお店をオープンする時に、僕の友達は原宿に多いんですけど、新宿でしかも雑居ビルのこんな3階で、だれも来ないからやめろって。半年でつぶれるぞって言われてたんですよ。美容室って原宿が多いじゃないですか。そうじゃないっていう自分の中での挑戦もあって。あと雑居ビルのゴチャゴチャが、自分の中でいろんなものを作りたいっていうゴチャゴチャの部分とマッチして。いいじゃないかと、こういう美容室があっても。（笑）

FR　（笑）そりゃ、いいですけどね。成り立つかどうか心配ですよね。

GOU　そう、そっちの方が。今までロンドン、ニューヨークって行って、日本を見てきて、技術でカバーできるのが本来の美容師の姿じゃないかと。どんな場所にあったとしても、技術で、人が人を呼んで来てくれるのが本来の美容師の姿ではないのかなって。ある種の挑戦なんですけど。

資金繰りを頼んだ親も、「もし、おまえ、つぶれたらどうするんだ」と。「いや、トラックの運ちゃんをして俺は借金を返す」って。

FR　そのときは美容室に勤めればいいのに。あ、勤められるところないんですね、話しの合うところが。

GOU　そうです。だから、どうしても自分の信じてきた道を貫き通すというか、人生は一度限りですからね。そうしたら、本当に運が良く、人が人を呼んでくれて、今はすごく忙しくなってきたんですよ。

FR　このビルは、ここ以外は全部飲み屋さんですか?

GOU　飲み屋さんと食べ物屋さんですね。

FR　ここはドアが閉まってるから、ビルに入ってくる人は、ここが美容室だっていうこと知らないですよね。

GOU　そうなんですよね。でも、そういう

らいかかるようになって。それはいいんだけど、僕も忙しくなってきたので2時間が取れなくて。とくに海外に行くときとか、短くしないとちょっと恥ずかしいなっていうのがあったので、その前に切りに行くじゃないですか。でもそのときには、出発前に仕事を全部終わらせなきゃならないので、時間がなくて、切りに行けないことが多くて。で、ロンドン行った時に部屋で自分で切っちゃったんです。長くなった髪が恥ずかしいなって、ガーって切って。それから。（笑）

GOU 自分でカットすることになっちゃったんですね。（笑）

FR もう、自分で切ればいいやって。

（笑） それと、今なら多分いろいろお話をして、わかって切ってくれる美容室があると思うんですけど、ちょうどそのころ、DCブランドブームのころだったんで、なんかスタイルがあったじゃないですか。で、ロンドンじゃなかったじゃないですか、そのころは。

GOU 全然。まるまる日本でしたからね。

FR ロンドンの感覚とかってわかってもらえなくって。

GOU はい。

FR 僕もロンドン好きなので。「立てたいんですよ」とかって言ってもわかんなかったりするし。

GOU うん、そうなんですよね。僕もその下で働きながら、パリの雑誌とか日本の雑誌とか、僕はいろんなロンドンの雑誌とかを必ず見てたんですよ。買うお金がなかったので、立ち読みして。いろんなものを見てたんです。だから、このお客さんが言いたいのは、「あ、多分こういうことなんだな」、「この技術者はどういうふうに切るんだろう」って。でも結局全然違う世界ができあがってる。「お客さんは、こういうふうに言ったんじゃないんじゃないのかな」とか思ってて。俺が切れるようになったらこういうふうにしてあげようとかっていう気持ちがいっぱいたまっていってました。それが僕の過去の部分ですね。

FR そういう意味では、今、若い子は、話してちゃんと理解してもらえる美容室がけっこうあるからいいですよね。

GOU そうですね。幸せだと思いますよ。

FR 昔は美容師さんのほうが、何かダサかったじゃないですか。

GOU そうなんですよ。

FR 数年前から格好良くなってきて。

GOU はい。本当に数年前ですよね。

FR 美容室行くの、何か、ちょっと恥ずかしい感じがあったけど。（笑） 今はそうじゃない。

GOU そう。何が嫌かって、初めて行ったお店が、すごく小ぎれいになってて。白と黒、モノトーンっていう感じの美容室で、小ぎれいな人が、「いらっしゃいませ、少々お待ちくださいませ」、「はい、かしこまりました、ご予約ですか」って。もうクラシックが流れてるような、整然とした雰囲気の中で、お客さんは緊張しまくり。「はい、はい」って。「どうぞ、こちらへ」って通されても、もう緊張しまくり。自分の言いたいことを伝えられないじゃないですか、そういう所だと。それがすごく嫌で。

FR そうですよね、うん。

GOU やっぱり、髪の毛をどう切ってほしいって、そういうことを全部伝えたいわけじゃないですか、最初に。そういうことができない雰囲気になってたんですよ。だから、すごくそれが嫌で。雰囲気が。だからこの店ではそれをまず壊そうと。そういう雰囲気のお店にしたくなくて。だからここでは「いらっしゃいませ」がないんですよ。なぜかっていうと、英語で言うと「キャン・アイ・ヘルプ・ユー」じゃないですか。「いらっしゃいませ」って訳してるけど、あなたのヘルプをすること、助けてあげることができる、要するに何かを作ることができるっていう意味と一緒じゃないですか。だから、そういう意味で使いたかったたから、最初に「こんにちは」、「やっほー、元気？ 今日はどうする？」と。そこからモノを作る。その人の中に入っていくことから始めたいんですよ。「いらっしゃいませ」っていうのは、「敬具」とか、「拝啓」とかと一緒だと思うんですよ。そういうのって、絶対に一枚の薄い壁を作ってしまうと思うんです。それを取り払って、最初からその人の、何を求めているのか、どういうモノが欲しいのか、どうしていきたいのか、その人がどんな音楽を聴くのか、どんなファッションスタイルを持っているのか、生活スタイルを持っているのか、そういうことを全部入れるためには、僕には「いらっしゃいませ」っていう言葉は必要なかったんです。

FR なるほどね。細かいことまでちゃんと考えてるんですね。

GOU はい。そうしないと、やっぱり。モノを作る側としては、その人をどれだけわかるかで全然違うと思うんです。出来上がりが。

FR そうでしょうね。成功している人はそういう細かいことまでちゃんと、外からは見えないけど、考えてるんですね、きっとね。

GOU でも、こんなこと言っちゃあれですけど、大部分の美容師の人が忘れてる部分だと思うんですよ。変にマニュアル化された接客しかできなくて。本当に本音で話し合えてっていう接客は、今まではタブーになっていたから、日本では。だから、接客マニュアルっていうのがあって、その通りの接客しかしない。でも、お客さんっていうのは、一人一人違うわけだから、10人いたら10人違う考え方を持ったお客さんが来るわけだから。それにちゃんと応対をしてあげることができ



る人の格好見て。

GOU そうですね。僕ね、自分の中のポリシーで、モノを作る側というのは、アーティストでいなければいけないと思うんですよ。それは、見た目も含めてすべて。初めて会う人の第一印象って、どうしても見た目だと思うんですよ。求める側には、この人はどんなものを作ってくれるんだろうっていう好奇心があるわけじゃないですか。だから、絶対にその見た目、あと考え方、そしてその延長線上に僕が作るものがあって。トータルで直線で結ばれなくちゃいけないと思うんですよ。下の子たちにも、いつもアーティストであり続けろと。走り出すことを始めて、それが止まってしまって、モノを作る意識がなくなっちゃダメだって。走り出したらずっと死ぬまで走り続けろと。それがモノを作る側で、勉強に終わりはない、モノを作ることに終わりはないって散々言ってるんですよ。もし、年をとって止まってしまったら、アンテナをずっと張っていることができなくなったら、そこで僕の美容師は終わりかなって。だらだら続けていく仕事はしたくないし。60才になっても70才になっても、やっぱり生み出すことをしていきたいですけどね。

FR そうですよね。

GOU インターンのとき、上の人の仕事を見たり、他の店に遊びに行ったりしたときに、何か自分の考えといつもずれてたんですよ。もう10年前ですけどね。10年前の美容の世界と。

FR 10年前の美容だったらダサそうですよね。（笑）



GOU そうですね。どうしても、僕の言うことと、上から返ってくる意見がいつも食い違ってて。いつもはてな、はてな、はてな、はてな、はてなマークがずっとついてたんですよ。だから、でも僕はこう思う、俺はこう思うっていうことを一手一手口に出して言って。口に出した以上、言葉っていうのは発したら実現させなくちゃいけないっていうのが自分の中にあったんで、そのために勉強もしたし、いろんなものも見てきたし、そういうことの繰り返しで。（笑）

FR ロンドンは、まだ年に何回か行くんですか？

GOU 年に1回、必ず。

FR どれくらい行ってるの？

GOU 10日間くらいですね。その間、店は休みですけどね。でも、それくらいしても、モノを作る側として行く価値はあると思うんですよ。日本を見ながらロンドンも見れることってすごく大切だと思うんですよ。

FR 僕は2年くらい、ロンドンには行ってないので、行かなきゃいけないんですけどね。

GOU 「STREET」の撮影で行くんですか。

FR 最近「STREET」の方は撮影してないんで。

GOU ああ、そうなんですか。僕がロンドンに住んでた時、青木さんも何回か来てたと思うんですよ。

FR ああ、そうですよね。5年くらい前、けっこう面白かったかもしれないですね。

GOU すごく面白かったころなんですよ。ちょうど、世代交代の時期で、上の人たちが退き、下から若い人たちが押してくるような時代だったんですよ。だから、すごく面白かったですけどね。

FR 美容師になるには、学校に行ったんですか？

GOU 学校出ました。

FR 高校出て、美容学校ですか？

GOU そうですね。その間に、他の仕事をちょっとだけしたことがあったんですけど、でもどうしてもモノを作ることをしたくて、美容学校に行って。

僕が作る頭っていうのは、カットにしても、カラーにしても、パーマにしても、エクステンションにしても、ガキのころに作ったプラモデルの延長なんですよね。組み立てて、バリを取って、ちゃんとつなぎ目がないように紙やすりを掛けて、出来上がったものに色をつけていく。だから、髪の毛を切るっていう言い方ってすごく嫌いで。切るだけだったら、素人さんにもできるじゃないですか、自分で前髪切ったり。だから、「つくる」っていう言葉を使ってるんですよ。「今日はどういうふうにつくる？」って、それが最初の言葉。

FR ああ、なるほどね。僕は自分で切ってるんですよ。

GOU うん。（笑）

FR （笑）もう、むちゃくちゃなんです。

GOU そうかなって思ったんですけどね。自分で切ってるのかな青木さんって思ってたんですけどね。

FR なんか、面倒臭くって。以前行ってた美容室が、だんだん人気が出てきて、時間がかかるようになってきて、行ったら2時間く

GOU　僕も研究半分ですね。だから今、睡眠時間が1日3、4時間なんですよ。クラブ行かないときは、自分で練習してますから。1日24時間がものすごく足りなくて。いっぱい仕事して、いっぱい勉強して、いっぱいいろんなものを見るっていうことの繰り返しで。

FR　練習ってどんなことするんですか?　もう、それだけやったら練習は要らないように思いますけど。

GOU　いや、新しい、オリジナルのカラーを作り出すこととか。カラーだったら色の勉強、この色とこの色をミックスしたらとか。カラーってもう無限じゃないですか。オリジナルのカラーをどうやったら作れるのかとか。エクステンションも、素材探しから始めて。うちにある素材は日本とニューヨークとロンドンから入れてるんですけど、こんな素材だったらどういう頭が作れるんだろうとか。パーマにしても、こういうロットがあったらいいんじゃないかなって自分で削り出したり。このロットで巻いたらどういうふうになるんだろうって。そういうことを繰り返しやってますね。だから、死ぬまで勉強だなって思います。

FR　そうか。それは、楽しそうですね。

GOU　楽しいですよ。それが「生み出す」っていうことだと思うんですよ。作り出すものが、自分の中で納得できたときに初めてお客さんにフィードバックできるわけじゃないですか。

FR　僕は、睡眠はちゃんと取ってるんですけどね。

GOU　そうなんですか。僕も取りたいんですよ。取りたいんですけど、僕の中にやりたいことが多すぎて取れないんですよ。

FR　あ、お店って時間が決まってますもんね。開店までに来なきゃいけないし。僕の場合決まってないから。寝たいときには寝てるんです。

GOU　COOYAの午後2時から終電までっていう時間も、僕の生活スタイルに合わせちゃった時間なんですよ。

FR　終電までやってるんですか。

GOU　終電までです。午後2時から終電っていう時間枠でやってるんですけど。終電までやって、そのあとクラブ行ったり練習したりして。でも朝弱いんで起きられないじゃないですか。それで開店は午後2時から。でも、若い人たちも昼過ぎから動き出すんで、ちょうどいい時間かなって。

FR　そうですよね。

GOU　だから、「ひょっとして、これ、美容室のベスト時間?」とかって思いながらやってるんです。

FR　そうですね。

GOU　2時くらいから夕方までが学生さん。夕方から夜までが普通の仕事をしてる子たち。で、夜から終電までが服飾のお店で仕事をしてる子たち。ちょうど、いい具合に割り当てができて。



FR　そうですね。普通、美容室って終わる時間が早いですよね。

GOU　うん、早いんですよ。

FR　変ですよね。

GOU　うん、だから、ひょっとしてこれが美容室のベスト時間なのかなって。

FR　そうですね、きっと。百貨店とかもそういう時間にすればいいのになって思いますけど。

GOU　うん、思います、思います。

FR　働いてる人は行けないですもんね。

GOU　そう、行けないんですよ。

FR　僕もそんな時間帯ですよ。今は年2回くらいしか海外行かないんですけど、年6回くらい行ってた時は時間がぐちゃぐちゃになっちゃうから、もう別に朝起きる必要もないしって。睡眠は取らないと仕事できないので、睡眠はちゃんと取って。でも、締め切りがあるのでその前は寝れないときとかありますけど。土日も仕事してますしね。

GOU　でも、青木さん、けっこうクラブ来てますよね。

FR　いや…。

GOU　そんなことないですか?

FR　うん、行ってるときは必ず会ってるんですよ。仕事でしか行かないので。僕、あんまり好きじゃないんですよ、空気悪いでしょう。

GOU　空気悪いですよね。

FR　苦しいし、暑いし。それほど面白いイベントも少ないし。この間のCODEのは面白かったけど。

GOU　この間は面白かったですね、いろんな人がいて。

FR　うん、いろんなタイプの人がいましたよね。

GOU　でもああいうのは、年に何回かしかないです。

FR　そうでしょうね。

GOU　うん。

FR　カポエラダンスの人たちはすごかったですね。びっくりしました。カポエラとブレイクダンスのミックスのようなダンスで、すごくレベルが高かった。やっぱり日本の若いヤツにはすごいのがいる。

GOU　はい。

FR　その前にミライっていうバンドがあったじゃないですか。

GOU　うん、うん。以前にそのバンドのライブを見たことがあるんですよ。

FR　僕もフェトゥスさんのショーの時に。

GOU　はい、はい、その時です、僕も。

FR　あの時も良かったですよね。あの時はこの時間帯っていうんじゃなくて、だらだら

ない人間が作られてしまうと思うんですよ。それだったら機械が切ってもいいわけなんですよ、そういう機械を開発して。

FR　うん。

GOU　人間が人間に接して、人間が人間をつくってる。人間が人間にモノを作ってるんだから、そういうのは絶対に必要かなって考えてて。

FR　なるほど。美容師になろうって思ったのは何かあるんですか？

GOU　モノを作ることの延長線上が、たまたま僕の場合はヘアだったわけで、途中でころっと変わって洋服になるかもしれないし、コンピュータグラフィックになるかもしれないし。モノを作ることが大好きで、いろんなモノを自分で作ってきて、それが最終的にヘアスタイルに目が向いて。で、美容師になって。プラモデルを作ってたことが、今度はヘアに変わったということですよね。多分、一生サラリーマンはできないと思うんですよ。ずっと、モノを作る側でいたいんで。それが、すごく楽しいし、美容師って天職かなって思うくらい楽しい。どんなに時間がなくてもモノを作ってる時がすっごく楽しいんです。今、美容師ブームで美容師になりたい若い子たちがすごく多いじゃないですか。でも多分表面の部分でしか見てないと思うんですよ。

FR　うん。

GOU　多分見てる部分って、10パーセントくらいの部分しか見てなくて、その陰の90パーセントを見たときに、ガクンってくることがあると思うんですよ。

FR　うん、そうですね。

GOU　だけど、それを乗り越えたときに、美容師っていう仕事はすごく楽しいですよってメッセージしたいですね。

FR　あきらめるなと。

GOU　そう。最初は、確かにつらいことばっかなんですよ。1年目は、使い走りと一緒ですから。「何、買ってこい」、「下、掃け」、「何、洗え」。でも、それを乗り越えたときに、多分すごく楽しいことが待ってる、僕の体験上。もちろん技術も勉強してね。

FR　ああ、そうなんだ。

GOU　うん、伝えたいですね。

FR　僕は美容師さんにはなれないなと思ってるんですけどね。

GOU　でも僕もそうでしたよ、最初。

FR　そうですか。

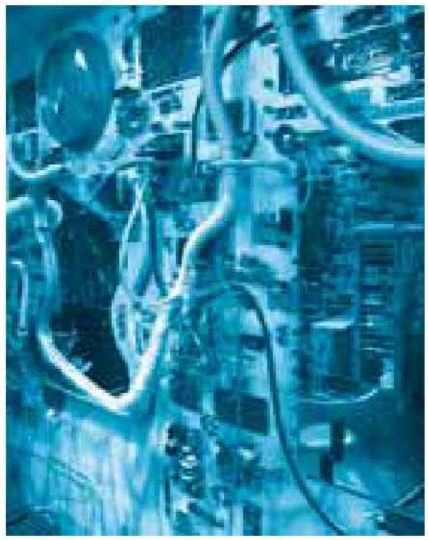
GOU　僕が髪の毛を切れるわけないと、こんなパーマなんてどうやって巻くんだと。

FR　あと、怖いですよね、人の一部だし。

GOU　そうなんですよ、切っちゃったら元に戻んない。

FR　服だったら、気に入らなかったら脱いじゃえばいいわけだけど、次に切りに行くまではその形でいなきゃいけないし。

GOU　そうなんですよ。



FR　責任ありますもんね。

GOU　責任あるんですよ。だから、「絶対にできないな、俺には」っていう考えがあったんですけどね。挫折して上がって、また挫折して上がっての繰り返しだったんですよ。でも、楽しいです、今は、すごく。

FR　まだ美容師ブームですか？　なりたい人っていうのは多いですか？

GOU　多いですね。

FR　まだ多い。

GOU　うちのお客さんもけっこう言ってますからね。「いや、大変だよ」って言うんですけど。「でも、その大変を乗り越えたときにはきっと楽しいよ」って。

FR　けっこう、大きな乗り越えになるみたいな気がしますけどね。

GOU　うん、本当に繰り返しです。落ちて上がって、落ちて上がって。

FR　まあ、なりたい人がみんななれちゃったら、美容師さんがいっぱいになっちゃうから、淘汰されなくちゃいけないですからね。

GOU　でも、楽しいと思いますけどね。うん。あと本当に美容師はタフじゃなくちゃいけないっていうことですね。

FR　ああ。

GOU　よく、青木さんとクラブとかで会うじゃないですか。でも、それは仕事が終わってから行ってるわけで。仕事は仕事、クラブはクラブ。でも、もし僕がクラブ遊びに行かなくて、仕事が終わりました、疲れました、家に帰りました、寝ました、朝起きてまた仕事に行きました、その繰り返しっていうのは何も見えてこないと思うんですよ、多分。僕がクラブ遊びで何を求めるのか、クラブ活動で何を求めるのかっていうと、人との出会いがあるし、いろんな人と話をして、そこからも感覚の勉強ですよね。いろんな感覚をもらって。クラブではあんまりCOOYAって言いたくないんですよ。遊びに行ってるのはCOOYAの僕で、仕事をしてるのはGOU自身なんですよ。仕事とは別にいろんな感覚を磨いたり、いろんな友達と仲良くなったり、そういうことをしたいので。もちろん、音楽大好きですし、踊ることも、ストレス発散になってるんですけどね（笑）。

FR　そうなんだ。

GOU　だから、クラブで見たら、声をかけてくださいって。

FR　そうか、そうか。VOLUMEの氏田さんもよく行ってますもんね。

GOU　行ってますね。

FR　でも、ガール・ラブズ・ボーイのコウジさんは行かないみたいなんですよ。

GOU　そうなんですか。

FR　全然行かなくて、ずっと研究してるって言ってました。

GOU そう、コーヒーもすごくおいしいし。いつもクラブ帰りの子たちがたまってて、ちょっと話をしたりして。

FR そうかそうか、あのへんで勤めてたんでしたね。じゃあ、年10日間じゃ足りないんじゃないんですか？

GOU 足りないです。いつも最終日に、「もうちょい、いていい？」っていう気持ちになるんですよ。でも、日本に帰ると予約入ってるしな、帰んなくちゃいけないよなとか思いながら、葛藤しながら帰ってくるんですけどね。

FR お店としては、かなり儲かってます？

GOU いやー儲かってないです。（笑）やっぱりモノを作る仕事っていうのは、流れ作業と違って時間がかかりますから、1日に入れられるお客さんの数って限られてしまうんですよ。僕は、お金を求めるサロンにずっといたんで。

FR 基本はそうですよね。

GOU そう、売り上げどうのこうのって言われるのがすごく嫌で、そういう所で育ってきたので、自分はそうしたくないんですよ。はっきり言えばお金持ちになりたくないんですよ。それよりも、モノを作らせてくれという気持ちのほうが強いんで。自分が生活できて、お店が維持できて、スタッフに給料払うことができて、それプラス次のことを考えるお金があればいいと思ってるんで。お金はあんまり考えてないです。

FR お金を考えたら、やっぱり若いスタッフに切らせて管理するようになっちゃうしね。

GOU ある意味、商売人になってしまうんで、絶対に。だから、借金返してお店が運営できてるくらいでいいと思ってるんですよ。

FR 開業資金ってどれくらいかかるんですか。

GOU うちの店、安いですよ。全部手作りだったんで。

FR 椅子とかにしても、高そうですよね。

GOU 椅子、中古です。

FR ああ、そうなんだ。

GOU ちょうどロンドンから帰ってきたところに、友達のお店が買い替えると聞いて。

FR へえ。

GOU 知り合い通じて、「安い椅子ない？」って、「俺がきれいにするから、どんなにぼろぼろでもいいよ」って安く譲ってもらったものとかがほとんどなので。

FR それじゃ、そんなにお金かかんないですね。

こういう形態が日本で成り立つ時代になったっていうのはいいですね。

GOU そうですね。でも従来のサロンも残んなくちゃいけないと思うんですよ。こういうサロンばっかりじゃなくて。美容室っていう大きな枠の中に、うちみたいな美容室の形態と子供からお年寄りまでっていう大型サロンは必ず残んなくちゃいけないから。美容室の枠の中で、二通りの方向性を持っていくんじゃないのかなと思うんですよ。



FR ロンドンってそうですよね。

GOU サッスーンがあり、トニガイがあり、トレバー・ソルビーがあり。でもそのかたわらストリートでやってるちっちゃなサロンがある。そういうふうにバランスが保たれてるわけじゃないですか。で、お客さんは、どっちに行くかを選べばいい。だから、お互いそのバランスを保ちつつ残っていって全然いいと思うんです。

FR こういう美容室って最近までなかったですよね。VOLUMEもそうですしね。表から見えなくて。昔、マンションの一室でやってる美容室がテレビに出たりしてたけど。

GOU そうなんですよ。それって変なことだったんですよね、日本では。

FR うん、でもそれは変だったし。（笑）だけど、ここは変じゃないから。あるスタイルになってるから、それってすごいなと思う。

GOU 僕の考え方だと思うんですけど、いかにそういうスタイルが出せるか。多分、考えがあやふやなままお店を始めたら、中途半端なままの作りで終わってしまうと思うんですよ。中途半端っていうことが大嫌いで。ヘアスタイルにしても、中途半端なまま切ったら、できあがりもは中途半端になってしまうし。やるんだったらとことんやろうぜって。

FR それを受け入れるユーザー側の感覚も、レベルが高くなってるっていうことなんでしょうね、きっと。

GOU そうなんですよ。

FR 一時のロンドンの感覚みたいなのがわかるようになってるんですよね。

GOU でも、これだけ今情報が氾濫してるじゃないですか。昔は、必ず何ヶ月か遅れてくる情報だったじゃないですか。今はほとんどダイレクトに伝わってくるじゃないですか。ミュージックシーンにしても、ファッションシーンにしても、映画にしてもダイレクトに日本に入ってきて。情報がすごく氾濫していて、それを受け入れて若い子たちが今育ってるわけじゃないですか。だから、感性はすごく敏感になりますよね。チョイスする幅も広がったし。それはすごくいいことだなと思うんですけど、あとはその情報に流されずに自分自身をしっかり持っていけたら、今の若い子たちは僕くらいの年齢になったときに、ものすごくいいものが作れたりすると思う。

FR ですよね。

GOU 幸せですよね、ある意味。僕の時代って、すごく探さなきゃなかったんですからね、本当に。だれに聞いてもわかんないし。探さなきゃならなかった時代だから。それに比べたら今はすごく情報があって、それをチョイスできる。全部自分の中に取り入れて、

ずっとやってたじゃないですか。あれがすごく良かったですね。あと、取り巻きの人たちの雰囲気が格好良くて。

GOU　すごく格好いいですよね。

FR　みんなおしゃれしてるんだけど、汚い格好してるんですよね。

GOU　うん、グランジっぽい格好の、それでまたちょっと違うスタイルですよね。

FR　ちょっと70年代とかが入ってる人がいたりとか、普通に見たらアバンギャルドな格好してる人もいるし。でも生活の格好をしてるし。すごく格好いいし。写真を撮らせてもらったんですけど、すごく感じのいい人たちで。すごく感じ悪いヤツとかいるじゃないですか。（笑）

GOU　ああ、いますよね。

FR　すごく感じのいい人たちだし、何かいいなって。他にはドラッグクイーンもいて、普通のおしゃれな子もいてって。すごくバランス良かったですよね、あのイベントは。

GOU　あれはすごく良かったですよね。でも、僕も暑いのだけは苦手ですね。じっとしててもじわーっと汗が流れてくるあの暑さは。（笑）

FR　僕はたばこ吸わないから、もうもうとしてるでしょう。で、次の日とか臭いじゃないですか、洋服とか全部。あれが苦手で。あと、行っちゃうと、けっこうずっといるんですけど、行くまでが億劫で。

GOU　億劫ですか。

FR　億劫になっちゃうんですよね。あと忙しいから夜もけっこう仕事してるので。よっぽどのことじゃないと、あんまり行かないんですけどね。（笑）

GOU　そうか。

FR　でも、クラブの雰囲気もけっこういい感じですよね。何だろう、健全な感じがして。

GOU　日本のクラブは健全ですよね。僕も思いますよ。すごく健全だなって。以前ニューヨークのクラブに遊びに行った時に、クラブの中で乾いたパン、パン、パンっていう音がしてみんな伏せたんですよ。発砲事件があって、「うわっ、怖えー」って。ロンドンでも、ブリクストンっていう危ない地域に行った時に、今では景気がいいんでそんなに危なくないんですけど、タクシーを呼ぶために電話してたんですよ。そしたら、後ろからガン突きつけられて、「ギブ・ミー・10ポンド」って言われて。10ポンドで俺の命が助かるんだったらやるよとかって。（笑）そういうこととか、けっこうあったんですよ。それに比べたら日本の夜なんて、すっごい安全だなって思う。

FR　ねえ、いい子たちだし。ロンドンもね、そういういい子たちの集まるクラブもあるけど、そうじゃない所もあるしね。

GOU　そうじゃない所のほうが面白いんですけどね。

FR　あと、ゲイクラブが中心ですよね。

GOU　そうですね。今、ロンドンでターミナルズっていうクラブで、毎週日曜日の朝6時スタートで昼過ぎまでやってる、すごく面白いイベントがあるんですよ。「トレード」っていうイベントなんですけど、それはすごく音もいいし、来る子たちみんなおしゃれだし。ゲイイベントなんですけど、すごく面白いです。

ドラッグクイーンとかも、ニューヨークのドラッグクイーンとロンドンのドラッグクイーンと全然違うんですよ。日本で言えばホッシーとかマーガレットっていうのはニューヨークのドラッグクイーンなんですよ。でも、アンソニーとかの格好をするのがロンドンなんですよ。全然違うんです。日本では二つ見れて幸せだなと思うんですけどね。

FR　そのブリクストンのクラブは面白いよってよく言われてたんですけど、怖いから行かないって。あと、タイムアウト（ロンドンの情報誌）見てたらここは面白いって書いてあったんで、ポートベローのクラブに行ったんですよ。

GOU　どこだろう。

FR　ポートベローの、忘れちゃったな。古着とかの一番端っこの。

GOU　あのガード下の方ですか?

FR　ガード下の、ポートベロー通りのこっち側にある所で、そこに行ったんですよ、夜中。

GOU　高架線の下にある所ですか。

FR　ああ、たぶんそう。

GOU　ああ、わかりました、わかりました、行ったことあります。

FR　で、全然面白くなくって。

GOU　うん、面白くなかったですよ。僕もあれ友達から聞いて、週末盛り上がってるよって聞いて、こんなでかいセキュリティーに止められて。何とか中に入れてもらったんだけど、面白くなくて。

FR　うん、全然面白くなくって、店から出たら危ない雰囲気だし。

GOU　そう、あそこはやばい地域なんですよ、夜は。

FR　そうそう、知ってたんですけどね。

GOU　すごくやばい地域なんで、タクシーも行きたくないって言うんですよ。

FR　タクシー乗って着いたら、「カメラ、隠したほうがいいよ、危ないよ」って言われて。「わかってる、わかってる」って。

GOU　ロンドンのタクシーって外に出てお金払うじゃないですか。でも中でもらっていいかって言われて。

FR　（笑）そうそう。店から出て、すぐにタクシーがいたからすぐ乗っちゃったんですけど。タクシー乗る前に何人か寄ってきてましたから。（笑）

GOU　そうなんですよ。うわあ、やべえとか思って、もうブリクストンの二の舞は嫌だって思ったんで。

FR　あれはヤバイと思いましたけど。他のクラブは大体ピカデリーの周辺にあったりするから。でも、あの辺も夜中とか、けっこう嫌な雰囲気になりますよね。

GOU　いつもクラブ帰りにコーヒー飲む所が、多分ご存じだと思うんですけど、オールド・コンプトン・ストリートのバー・イタリー。

FR　はいはい。いいですよね。

GOU　あそこで必ずカプチーノ飲んでから家に帰るんですよ。

FR　あそこの店、本当にイタリアの作りをしてて、ギャルソンとかもみんなイタリアの感じをそのまま出してるからすごいですよね。

なものを見てきたから、「ああ、こういうスタイルもあるんだ」って受け入れるじゃないですか。日本って自分の範疇(はんちゅう)外のものが来ちゃったら受け入れないんですよ、頑として。それが何かね、変に自分の中で枠を作ってる人たちが多いかなって。うちに来てる若い子たちにこういう話を必ずするんですよ「枠作るなよ、自分の中で」って。

FR　でも今の若いヤツって強いですよね。学生運動のころに参加して大人になった人たちから見ると、何もしないように見えるかもしれないけど。叩かれてもつぶされても反抗しないけど、また他の場所から芽を出すみたいな。

GOU　そうそう、そうなんですよ。反抗しないんだけど、フって言って逃げて、他から芽を出すんですよね。

FR　その強さがあるから、僕はすごく強いなと思ってて。逆に正面からぶつかっていったあの世代の人たちよりも、強いんじゃないかなって思ってるんです。それはあの人たちにはわからないと思うんですけど。

GOU　わからない。だから、それはさっき言った範疇外のことなんです、それって。

FR　何もしない、反抗もしないし、何にも作り出さない子たちって見えてるかもしれないけど、全然逆で。干渉しようとすると他に行ってるから、見えてないだけでね。

GOU　そうなんですよね。見えてないんですよね。見えなきゃいけないのに。だから、何もしないって映ってしまうんですよね。僕もこういう頭してこういう格好して歩いてると、何それみたいな感じで言われたりするんですけど。職業何やってんのとか言われて「え、魚屋」ってとぼけるんですよ。(笑)そういう人にはね。何も考えてない人たちは「ああ、そうなんだ。」って納得するんですよ。(笑)「なに納得してんの、こんな魚屋いるわけないじゃん」って。(笑)あと、何を言われようと、俺は俺っていう強さと、あといかに「ファック・オフ」っていう言葉を自分の中に持ってるかですよね。向こうって注意されても、平気でフッって笑って「ファックオフ」って言って行っちゃうじゃないですか。

FR　そうですね。



(連絡先)
住所、東京都新宿区新宿3-12-1　サトウビル3F
TEL　03-3226-5135(要予約)

聖✴浩二久我

St.✴KOJI KUGA



コージクガの春夏コレクション

コージクガが初めてのファッションショーをイエローで行なう。同時に新コンセプトシューズ「ほたる」のシリーズを発表する。イベントのDJにゴッドファーザー・オブ・ハウスと呼ばれ、ハウスミュージックを創出したフランキー・ナックルズが来日する。
日時／2月12日　OPEN／21：30
場所／SPACE LAB YELLOW　東京都港区西麻布1-10-11　03-3746-2368
問い合せ／(株)イーボル　担当：増成　03-3847-0753





LoBlessのCDを買いたい人は、

前号に載ったLiCOちゃんがボーカルをやってるバンドLoBless(ロブレス)のCDを、どこで買えるのか問い合わせがずいぶんありました。買いたい人はストリート編集室に2500円分の郵便為替を手紙で郵送してください。(郵便為替は郵便局で買えます)
封筒の表に「ロブレスCD」って書いてください。
〒150-0021東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F
ストリート編集室

FutureConnect99

東京コミュニケーションアート専門学校の学生の企画製作によるバーチャル雑貨ショップがラフォーレ原宿の正面玄関にできる。売上げは日本ユニセフ協会に寄付される。
日時／1月29日～1月31日
場所／ラフォーレ原宿の正面玄関
問い合せ／東京コミュニケーションアート専門学校
担当：金子　03-3688-3421

要らないものは吐き出す。また、チョイスする、吐き出すことができるじゃないですか。だから、感覚、感性っていう意味ではすっごい幸せですね。ただ、それに流されることがすごく怖いんですよね。今、若い子たち見てて、情報に流されてしまう、取り入れることができなくて。それがちょっと怖いかなって思うんですけど。

FR　でも、その中で自分たちのものを、オリジナルのものを作っていく子たちが多いですから。

GOU　うん、多いですよね。

FR　今まで日本のファッションって、向こうから来るものしかなかったじゃないですか。流行って必ず向こうから来るものだったでしょう。

GOU　そう、それも何ヶ月か遅れてくるものしかなかった。

FR　ファッションなんか、一年二年遅れ当たり前で。そりゃ海外で発表されたものを次のシーズンにパクルんだから当たり前なんだけど。今でも近いものがあるけど、今は電光石火にパクッてますね、メーカーは。でも、原宿とかから出てくる流行とかは、自分たちで作ってますからね。FRUiTSにでてる子たちとか。作ってるという意識があるのかないのかはわかんないけど。

GOU　そうなんですよね。僕もその考えがあって、こっちの目で日本を見て、こっちの目でロンドンを見続けたいなって。それを自分の中でミックスして、東京スタイルを作り上げたいなって。世界に通用するくらいの。

FR　作ってほしいですね。普通の日本人には理解されないんだろうけど。(笑)

GOU　今の若い子たちが僕らの年齢になったら、また変わると思うんですよ。その布石として、今僕がやってることがつながっていけばいいなって思ってるんですけどね。

FR　今原宿とか見てても、大人のやることっていうのは、そういう若い芽が出てくるのを、若いうちにぶつぶつつぶしていくようなことしかしないでしょう。

GOU　そうなんですよ、しないんですよ。

FR　ホコ天つぶすのだってその一つだし、いろんなものをつぶしてるじゃないですか。

GOU　そうなんですよ。何でって思うことがいっぱいあって。世代交代ってあって、それでどんどんいいものってできていくんだと思うんです。それを上からつぶすようだと、それはもうずっと古いままの体制の日本と一緒だと思うんですよ。昔よく、美容師が独立して、半径何メートル以内にお店を出しちゃいけないとか。それは関係ないと思うんですよ、実力主義だと思うんで。「つぶすぞ、こらっ」みたいなことがいっぱいあったんで。

FR　そうなんですか。(笑)

GOU　うん、それっておかしいなと思って。若い子の芽をつぶすようなことと一緒じゃないですか。それがいまだに残ってるのが大型サロン。



FR　原宿の街全体もそうですよね。外から見てると、いろんなものがあって新しいものが出てきてるけど、すごく抵抗にあいながらやってる人たちが多いし。

GOU　そうなんですよ。だから、僕も原宿の友達がすごく多いから、いろんな話を聞くんですよ。もう、本当に。だから、俺のところはそんなのないよって言って。(笑)僕が最初から原宿にお店を出していたら、多分そういうことをいっぱいされたんだなって思うんですけどね。

FR　まあ、それに負けないでやっている人たちが作っていくんだろうとは思うんですけど。

GOU　そう、だから、いつも俺も負けるなよって言って。でも新宿って逆の意味で負けないようにしなくちゃいけない街じゃないですか。だから、向こうからしてみれば、頑張れよみたいな感じで。俺も負けるなよとか言って、いいモノ作っていこうぜって言ってるんですけどね。

FR　そうか、ロンドンのやつらとかって周りから何を言われようと、どんなことされようと、知らねえよっていう感じだから。

GOU　そう、知らねえよっていう感じですよね。

FR　だから、そういう文化が育っていくのかもしれないですよね。

GOU　日本って、あまり人に干渉しすぎっていうのは良くないと思うんですよ。それって、昔の過保護っていう体制の延長だと思うんですよ。人のことが気になるとか。自分は自分でいいじゃないかと、思うんですけどね。自分がこうしたいんだったらこうすればいい。例えばロンドン行きたいなら行けばいい。人の意見は人の意見じゃないかと。話を聞くのはいいけど、それに左右されるのはおかしいぞっていつも言うんですけど。

FR　人の格好を笑ったりするやつも多いし。でも、ロンドンでも変な格好してるとけっこうみんな笑いますけどね。

GOU　うん、笑うけど、「ナイス」って言う子も半分以上いるわけじゃないですか。

FR　笑ったりはするけど、つぶそうとしたりはしないかな。なんかちょっと違った感覚ですね。笑ったり嫌ったりするのだって勝手でしょ、みたいな感じかな。

GOU　つぶそうとはしないです。うわあ、それ何って。

FR　別の人だなっていう感じなんですかね他人だし。

GOU　そう、別の人だなっていう感じ。日本はあからさまに、変だなっていうことをつぶそうってするじゃないですか。何でなんだろうって思うんですよ。多分それっていうのは、いろんなものを見ていない証拠だと思うんですよ。

FR　そうそうそう。

GOU　ロンドンっていうのは、モッズスタイル、スキンズ、グランジ、パンク、いろん



（山梨県）

えー、よくFRUITS系という言葉聞くんですけど、FRUITS系ってどんなのですか？
私が思うに、FRUITS、っていうこの本にのっている人達は自分を持っているから、何百人っているんな人達がいる原宿から、青木さんがみつけだして本にのるってなことになってるんじゃないかなって。ハデハデのW&LT、20471120とか着てても、ジーパンとTシャツとかでも自分を持っていれば、FRUITSになれるんだ。って私は思って服着てます。ハデハデとか、シンプルっていったいなんだろなぁ。って。どんなに着かざっても、自分の考えがなきゃ、なんにもならんて。
普通にです。自然に。自分の中での普通。
ブルース・リー
考えるんじゃない感じるんだ。
『心の指紋』
モヘアボ・アリ大好き。
ふくかひろこ　14才　群馬県
黒保根中学校2年



（岡山県　キヨミ）



ヨウツニボクジュヨツケテカキマシタ。ナカナカイイデショ。
明けましておめでとうございます。うさぎ年だヨォー。私もいよいよ17歳になりマス。FRUITS様とも1年付き合わせていただいております。何故かひかれて入った店にあなたがいました。小さかった私をここまで大きく成長させてくれてThankyouを言いたくてお年賀出しました。そしてこれからも多くの元気をいただくつもりです。今年の目標は「素直に楽しむ」です。又、1年間お世話になります。皆様は目標決めましたか？？お聞かせ下さい。
PS. 青木さん、FRUITSさん頑張ってください。それでわ…

（愛知県　千秋＋KEIKO　17才）

DEAR FRUITS様。私は今、自分がいったい何をしたいのかがわからない18才の少女です。今年中卒をしたのですが、目標もなく進学しても続くわけもなく高校とかを中退してしまうだろうと思い、バイトを始めたのですが、バイト先の店長さんが人のかげぐちばっか言う人で「そういうことしないで下さい」って言ったらケンカになって自分からやめたんですけど、その後もバイト見つからなくて、今は何もしない生活が続いていて、私もそんな生活になれはじめて、行動のことも何もわかってないくせにエラソーなこと言ったりしていて…
私はそんな自分がいやで、なさけなくて…そんな中で私に力をくれるのがFRUITSです。FRUITSっ子はみんな自分の目標をもっていて、それでなんかキラキラ輝いていて、かっこ良くて、すごくうらやましいです。
自分もそんな人間になりたいって色々がんばってみても全てあぶらしかばで、それでいやになってなげだして…頭でわかっていてもそれ以上行動にうつせなくて…
私は弱虫でいくじがなくて…このままでいたら自分を見失いそうで、もうどうしたらいいのか分かんなくて…FRUITS様、私はどうしたら…
力をかして下さい…!!!
FROM 小さなガラクタ

（静岡県）

編集部のみなさん、こんにちは。あけましておめでとうございます。私は29才の主婦で、服も近くのジャスコでそろえてるような、およそ最近のファッションと縁のない人間なんですが、2月号の表紙の女の子のほっぺがほんとにかわいくて、着ている服もほんとにフルーツって感じがして、思わず買ってしまいました。中身のページも、自分で選ぶような服ではないけれど、それぞれの写真から、その人の生活や喜びや悩む事がうかんでくるようで、何度も思わずページをめくり返してしまいます。みんな精いっぱいに自分の色を出してるフルーツ達って感じで、みとれてしまったけど、それが許されるのは若さかなとも思いました。20才をすぎた人の写真は、その人の人間性の度合いがよりよく服に反映されているようで、10代のエネルギーの爆発とも思える様々な冒険は、その後の人生の成熟のためにあるんだなと納得（？）しました。学校の保護者会などでは、世間のうけはあまりよくないかもしれないけど、援助交際とはまったく無縁な服、ブランド信仰にまどわされていない若者の服ばかりのってる
J　なにより　お手ごろ　…　全て建設的で　共感できるものだと思います。これからもがんばって下さいね。

（愛知県　トン猫のママ）

F：みなさんありがとう。編集部もみんなから色々教えてもらってる。そして共感頂くのはものすごく励みになります！

F：ガラクタさんへ−経験から言うとそんなもんです。すでに目標を持っている事と、目標を簡単に持てない事はどっちがエライっていう問題じゃないという事です。自分のペースで見つけていけばいいし、大きければ正しいんじゃなくて小さな事からでもいいのだし。つまづきは必ずある事。元気出して！ゆみさんもあせらなくていいと思う。詳しくわからないけど自分と合うカウンセラー探してみては？人と話す事で自分のための方法がわかる時もあると思

FRUITSのみなさまへ

初めまして。ずっと悩んでることがあります。それは、2年以上も続いている過食症のことです。高2のときのちょっとしたことがきっかけなのですが、もう何もできなくなるくらいにひどかった時もありました。体重も、身長165cmで50kg→65kg→47kg（現在）と半年でこんなに変化もありました。せっかく合格した大学も行くことが辛くなり、ただ今休学中。病院も98年8月までいったけど気持ちがめいってしまうのであえて行ってません。
最近、コンビニでバイトしながら車の教習所にかよって免許がとれました。けっこう自信がついたのですが、これから何をして、毎日やっていこうかとか自分でわからずにいます。だからみんなにおいてかれてる気がして、あせるばかり。過食症が治ってくれたら…とおもうけど、どうしていいかわからないです。つらいよー。
《大阪府・ゆみ・19》



（大阪府　ミカ）

あ しぇっぴー にゅう いやぁ

おめでとうございます♡♡♡ FRUiTS大好きの16才です。いちよう女です。プリクラいっぱいですネ♡♡♡（それだけ））隣にいるのは超ラブ♡な11彼女です♡ なんか変な年賀状で悪いのですが最後までヨロシクです。
FRUiTS最高です♡ 大好きです♡ もう毎月20日前後が楽しみでしょうがありません！ 500円玉●をにぎりしめて本屋へGO！！！です。
いきなりですが、ヴィヴィアン最高です♡♡♡ もうたまりません（笑）この前、ヴィヴィアンのサイフGETしました。買いたかったんですけど、お金がなくって給料もらってそっこう京都でGETしました♡ やっぱりオーブイイわ！！ってかんじです。本ト！！！ あと、ヴィヴィアンの黒のソックスをアームカバーにしました♡♡♡ 超イイかんじです！！！ 青木さんにもオススメ！（笑）
それなワケで今年もよろしくです＆これからもいろ×2 がんばってください。
BYE＊BYE



（京都府 優人）



（神奈川県）

FRUiTS様

こんにちは。No.18にのってた北海道のエロピンさんが26歳でFRUiTSな服装してると周りがうるさいって言ってましたよね。私、25歳です。仕事は一応服の販売員ですがうちのお店はノーブランドでいなかにあって地味。友人はコンサバかギャル。でも私はFRUiTSにのってるコ達の服装が大スキ。古着もパンクもロリータも大スキ。キャラやおもちゃみたいなアクセサリーとか大スキ。そのせいで前は私も周りにいろいろ言われてた。バイトのコに影でヒソヒソ言われたり。通りすがりの男に「何アレ!?」ってわざときこえる声で言われるのなんかしょっちゅう。（女のコはヒソヒソ言う。）でもだんだんみんな何も言わなくなった。（まあ、言う奴はいるけど。）うちの親は趣味でいろんな物作ってくれるし、近所のおばさん達も「かわいいねぇ」って言ってくれる。職場の人も友人も「あんたらしい」ってほめてくれる。うちの店長はLOEみたいな服装の人だけどFRUiTSの事教えたらさっそくみにいってキレイな本だって言ってたしあんなにいろんな色やアイテムを組みあわせてもまとまってて凄い！って言ってた。 自分のスキな服装したって何も悪くないと思うよ。マナーとか人間的な事ちゃんとしてれば服の事なんてみんな何も言わなくなると思う。それに世の中うるさく言う人ばっかりじゃないよ。例えヘンに思われたっていいじゃない。外見で判断する奴なんてかわいそうな人だよ。歳はどうにもならないけどお互い自分のスキなかっこうしよ!! T・P・Oは大事だけど。
がんばりましょう。

（大阪府） P.N ミッシェル



（神奈川県）

F：恐怖の大王は７月？自分がいて、他人がいる。いいと思う人がいれば、悪いと思う人がいる。覚悟とTPOがあれば大丈夫。待ってるぞ、大都会！なぞの"つづく"。ヴィヴィアンのアームカバー青木さんにはあやしすぎかも（笑）。まとめてコメントしたらわけわからない文になってしまいました。最後に読んでね。あ、最後に言っても無駄か（笑）

mini FRUiTS

年賀状どうもありがとう！
すごいうれしかった！
たくさん載せたいと思ったら
ギュウギュウになってしまった。
受験の人はがんばって受かれ。
業務連絡−−ヘア・メークに関する
質問あったら送ってー。



（山形県 次女）

フルッの人たちへ

もう我慢なりません。先生たちは私のプライドをメタメタのギッタンギッタンにします。あのね、かみ形とか直せといわれても気にしてないというか怒られたことを忘れてた。それが何日か続きとうとう先生キれて学校いくなり「帰れ！」といわれしぶしぶ帰り「退学だ」とおどされ母さんにも心配かけてしまった。そこらへんは私がわるい。しかし「つぐないに何か続けれるものを」と言われ私は真剣に考えた。5分くらいたって私は「もう早弁しません」といった。
つづく

（中村 16才）

FRUiTS
を編集しているみなさまへ。

はぁーい。べイベーたち（笑）。FRUiTS最●好ですぁ。FRUiTSは。でもここはいなかさ…。はげしいかっこしてるとふりかえられる。赤いズボンでもふりかえられるんですぁ。ああ…。なんていなか……。
でもイイところは緑がいっぱい目にイイのです。まあおかげさんでしりょくはおちないですね。
ちとじまんげですが…ああ東京という都会にでてみたい。そして、デコラの人をこの目でかくにんしたい。（自分はシンプルズきなので…。）ここらへんじゃ、デコラはいないっすぁ。みてみたい。さぞやかわいいんだろうなぁ。ああ。友と東京ではじけたい。そのために、せっせと●●ちょきんしてるからまってろぉ!! 大都会め!! 来年の夏（これが"もしのるんだったらたぶん今年？）に上陸してやる!! まってろぉ!! 原宿!! まってるよ!! デコラ!! ってぁかんじでいなかの人のしゅちょうでした。

自分の中ではこういう字

新潟県民の、フミカでした。手紙まってるぉ（かってに…）ウィンチュ♡♡♡♡♡

（14才）



（東京都）



（岩手県）



（滋賀県 広美）



（山形県 トーマス）



（愛知県 たいやきくん）





CODEライブ後。あやP(と)あき(と)たえこ。2人も、モデルで出てた。久々の再会!!



真上からの図。あき(と)くみ。私はやはり、1対1だった。ふみ大成功。

あけました、おめでとう☺今年も濃く動くぞよ。2月4日でハタチだ。成人式だドキドキ♡。男前女前にみんな、なってんのかな。結婚して子供産んだマイにも会える。早いなー びっくりだなー。私なんかめっちゃムリ。周りにも「ムリ」とか「離婚する」とか言われるしそーだなぁと自分も思う。今は、バンド良ければすべて良しだし。でも似合わず、ちとせを見習って、ごはんも作るんだよ。最初はね、もう激マズッだったけど今は、なんとなく形ができた。今年も自分らしく行くので、あきあきしんぶんをよろしく見たってね。

☆今年もお世話☆になりますん→☆ スペシャル スペシャル スペシャル サンクス

この雑誌フルーツ青木さん。かなり長い、おつきあい。高校生の時から。この、あきあきしんぶんも、えーもう、第18回!!になるのです。1ページをもらって、今だ謎。とにあえず変わらずおしゃれしてきます。青木さんありがとう。そして、CDリリースを手掛けてくれた、JAM店長の、さがわさん。TINSTAR RECORDSの社長でもある人。あと同じくJAMのまっだくん。今回デモどりしたんだけど、手伝ってくれた。おつかれさま。そして、応えんしてくれる人、友達、大感謝祭。

スペシャル スペシャル スペシャル スペシャル スペシャル スペシャル サンクス

⚡ThunderBall情報⚡デモテープは、もうないので、CD出たら買ったって下さい。1月25日(月)「RIDE THE ROCKIN ROCKET」新宿JAM。・GIMMIES・DEPOT・Oyaバンドイセ。アメリカから来日だよ。OPEN18:30、START19:00。サンダーボールのお客さんは、先着100名まで、ドリンク付の、500円!! 安すぎる。見なきゃ損。2月18日(木)渋谷CYCLONE。Super Creemイセ。ジャズ、ファンク系。こちらも、ぜひ。いい音、いいライブ見たい奴、来て。

年賀状ありがと。会えなくてもさ、私の事気にかけてくれてて。すごい救われた気がした。うれしい。啓子、美里、いくえ[?]、じゅんぺえ(祝♡)、あび、みやこ、さくら、なな、歌生里ちゃん、神戸のCHERRY ROLL。高校の友、地元友、原宿の友、ライブの友、アホの友、日美の友、知り合えて良かった。めちゃめちゃ大切。うれしい感情って、1番いいよね。





「おいっーース!!」あき(と)ちとせ。サンダーボール、LOBLESSよろしくね。



あいあい(と)ゆうき(と)ちー(と)あき。私も、かーいくなりたい。もうムリか。

友達募集



友達募集のコーナー
お申込みの方法

友達募集したい人は、編集部あてのハガキに「友達コーナー」係と(21)を明記してください。
お手本

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達コーナー」係
(21)

→

ハガキの裏の半分に、友達募集のかんたんなメッセージやイラスト(○○県、ペンネーム、年令を入れてね。)を書いてください。
下半分には〒番号、住所、氏名、電話番号を必ず書いてください。
この部分は掲載しません。

友達募集!………
………
………
東京都.FRUITS.18才

〒○○○-○○○○
住所、氏名、
TEL

→

今月の友達募集の申込の〆切は、
2月5日必着(過ぎると無効になるぞ。)
抽選で決まります。

友達になりたい人は、編集部あてに「友達なりたい」係の、例えば(20)―(ア)の○さんと明記してください。

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達なりたい」係
(20)―(?) ○○さん

なりたい人の〆切は、
2月22日必着
なるべくハガキで送ってください。(手紙の場合は定型サイズの封筒を使ってね。)

→ 1ヶ月後編集部でまとめて、友達募集した人にお届けします。少しめんどうな手続きになるけれど、安全で楽しい**交流**をしてほしいという編集部からの願いの表われですから。でも希望者が少なかったり、いなかったりしても悲しまないように。

注意!・募集は毎月、行います。毎回15人位掲載を予定しています。・例えば (21) と書いて、No.21に掲載されなかった場合、はずれです。ごめんなさい。また新たに応募してください。・必ずハガキで応募してください。(説明通りでないと無効になってしまいます。)・文字やイラストは黒のペンで書いてください。(印刷の都合上)



上着：シカゴ
セーター：？
シャツ：パパシャツ
スカート：チチカカ
シューズ：コンバース（25cm）
バッグ：おさないころの
帽子：みみあて。
ファッションのポイント：民族系!?
美容室：Au rouge
好きな音楽：CASCADE、JAM
みなみ（16才）、高校生

あい

マイメロ好きだ!!
ゆうちとお姫さまチーム
くんで ます。あと ギャル
チーム。あっいです。
326さま。これみてたら、
キャラクター かんがうてね。
ちょうちょだよ、ピンクとあかの。

友情出演→よーこ、ぴょん、
ゆうきたん、ななえ、あきちゃん
りょうちゃん、ゆうくん、まちこ、
ゆうち、ちとせちゃん、たまちゃん、
たいくん。勝手につかわせて
いただいた。ごちそうさま♡

はい、こんにちわ。あいです。このまえ(12月7にち)
17才になりました。お誕生日は よーこ、ぴょん、はるなえ
がなチャンにお祝いしてもらってとっても幸せでした。ありがとう☺
そしてクリスマスは よーこ、ぴょん、ゆうきたんとけんかなパーティー
したよ♡たのしかった☺ ありがとう☺♡♡ 今年もよろしくです。











☆最近 楽しいこと☆

冬休み中、まーちゃん(おねぇちゃん)
とテレビをみてたら、「やさしい日本
語講座」をやってて それからその
日しよるチャンのテレビにくぎづけで
すごかった。あれは見るべき。
あとは ゲームボーイ(ピンク☺)
いとこにかりてポケモンやってた
すごい勢いで1日で電池つかい
きるぐらいでやってたら みんなに
ゲーマーよばわりされてくやしが
ってたらちょっとあきた。でもまだ
続行中☆

とくにスマイリー高田おすすめよ。

うちのがっこう

羽田高校2ねんくみ
のあいです。でももう
はぐれなくなってしまい
ます。うちの学校。
せつないわ。じゆう
な、よい学校だと
思うんだけどな。

うちのいえ☺

うちの家は大変
わきあいあい。
おかしい人と、かわいい
ペットが、いっぱい。
いいおうちです。
でも早くひっこしたいな。



きになるもの

きになるものは、
みどり色、浜崎あゆみ
ちゃん、ななえの復活。
あといろいろ、まつ毛ののび方
かみののばし方、やせかた。

すばらしい人、こと、もの

つくづく あいは すばらしい人々にかこまれて生活してるなあとおもう。しあ
わせです。みんないろいろがんばってるから、あいもがんばらんとなぁと思ってま
す。いつもいつもありがとう。いっしょにがんばってゆこうねっ。あいはよく から
いと言われるのだけど そんなにからいのかなぁ。まあいいじゃん。すばらしいもの
は、みんなからもらったおたんじょうびとクリスマスのプレゼント、あとはしあわせな日々。

今年やりたいこと

さいきんみんなからデブってよばわりつつ、自分でもずっと前から気づ
いていたので今年こそは ちをやせです。そして(脱)もやし。体重か
かとしなやかな体をかねそなえたんになりまっす。あと シヨ
ちゃ!!わざせ生活なのだ。それとー
さびしげ ろくぐみ。だんなはぼしゆうです!! 冬は寒いから
へこみがちだけど それなときこそあつくいこう。実は超ようずいのあ
め
くち
しっぽい

あおきさんへ

新年そうそう
こんなクソにこんな
ことさせて 今年1ば
んの わがいになっ
たことでしょう。
ごめんなさい。
でもこれからも
ぜひよろしくです。
どうもありがとう♡



上着：ヴィヴィアン ウエストウッド
パンツ：T'Sで
シューズ：コンバース
アキトシ（21才）、専門学校生



コート：ノーブランド
シャツ：MIHO MATSUDA
シューズ：MIHO MATSUDA
バッグ：MIHO MATSUDA
ファッションのポイント：ピンクズキン
美容室：友達
好きな音楽：ブランキー
しま（18才）、高校生



上着：BODY BUTTER
スカート：スカルプチュアー（パルコクアトロB1）でかいました。
シューズ：？
バッグ：ごみバコでヒラいました。
ファッションのポイント：スカートです。とくに銀いろ。
美容室：きまってない。すべてカットもでる。
今ハマッている事：Plastic Tree
好きな音楽：Plastic Tree、SOFT BALLET
みゆき（18才）、大学生



上着：古着
シャツ：古着
パンツ：古着
シューズ：下北沢の店
バッグ：お金だしてヴィトン
帽子：自分であんだ。
ファッションのポイント：温ったか。
美容室：ボサ
今ハマッている事：じもと
好きな音楽：ハードコア
小俣ユキヲ（16才）、高校生

コート：L.L Bean
セーター：古着
シャツ：古着
パンツ：BEAMS BOY
シューズ：L.L Beanパクリ
バッグ：きのくにやショッパーバッグ
ファッションのポイント：高尾山
美容室：自分
好きな音楽：ミクスチャー
小川和歌子（16才）、高校生



上着：＋９－３＋３（自分のブランド）
セーター：ヴィヴィアン ウエストウッド
ブラウス：ヴィヴィアン ウエストウッド
スカート：＋９－３＋３
シューズ：ヴィヴィアン ウエストウッド
バッグ：ゴルチェ
帽子：千葉で。
ファッションのポイント：少年
美容室：VOLUME
好きな音楽：パイプオルガン
トクノ（17才）、高校3年生

上着：ラフォーレのよこ
パンツ：たぷたぷパンツ
シューズ：オゾン（王子の）
マフラー：王子の手作り
ファッションのポイント：ケイコウ
美容室：酒々井
今ハマッている事：ケイコウ
好きな音楽：一休さん
みさちん（11才）、小学5年生

コート：＋９－３＋３
シャツ：J・マーブル
スカート：ヴィヴィアンウエストウッド
シューズ：ヴィヴィアンウエストウッド
バッグ：ヴィヴィアンウエストウッド
帽子：手作り
ファッションのポイント：タテロール
美容室：トクノさんに。
今ハマッている事：編み物
好きな音楽：スポーンサントラ
王子（14才）、中学2年生

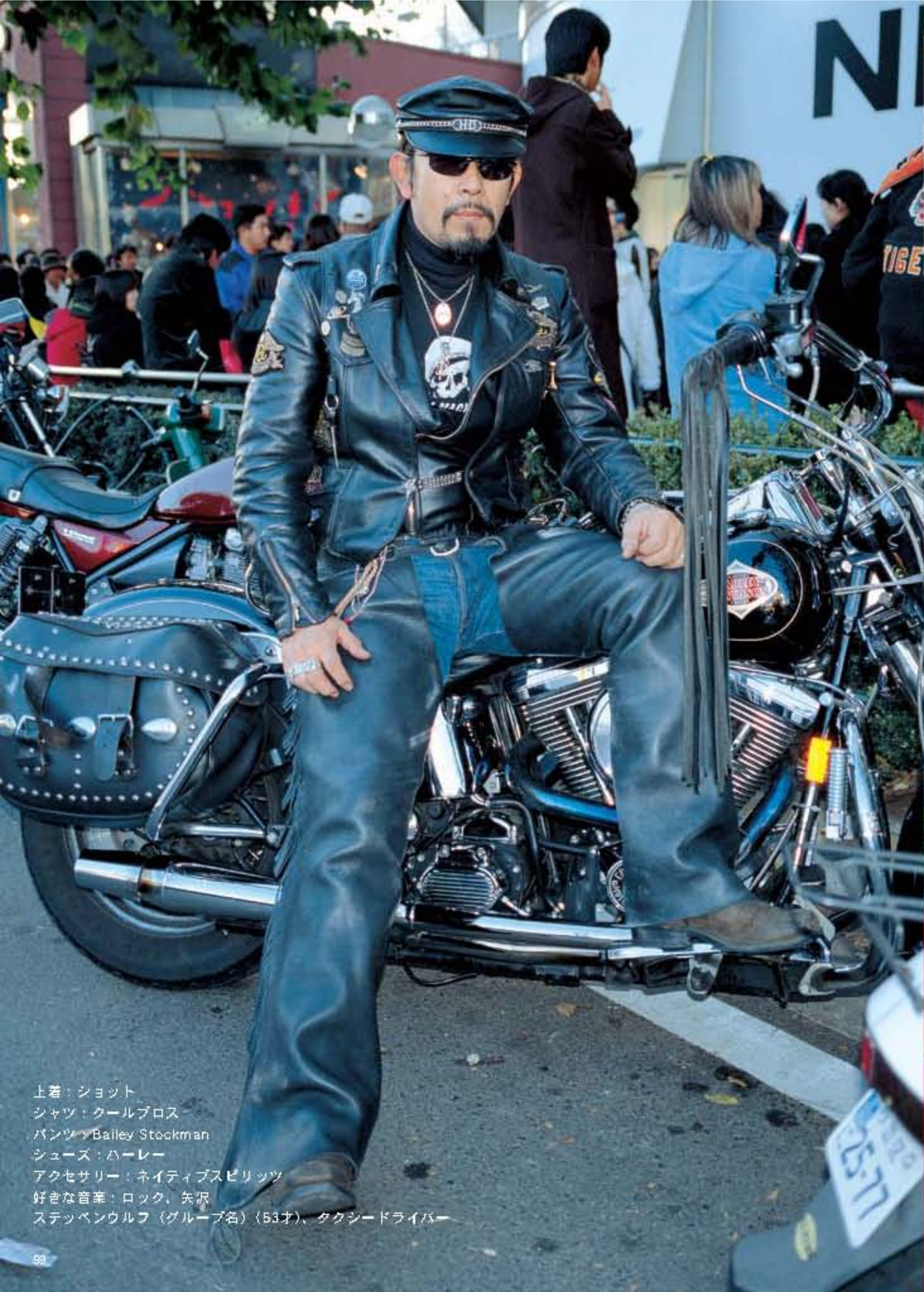


コート：昔のINED
セーター：VIVA YOU
パンツ：BETTY'S
シューズ：ニューバランス
アクセサリー：ヴィヴィアンのゆびわ
バッグ：ロンドンでかったヴィヴィアン
ファッションのポイント：しまうまっぽく
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：バンドでベースひくこと
好きな音楽：ドラクエの音楽にはまってる
みはら（22才）、大学生


セーター：LLBean
スカート：下北
シューズ：無印
バッグ：はる



シャツ（上）：ヘルスニット
シャツ：ヘインズ
パンツ：リーバイス
シューズ：レッドウイング
メガネ：レイバン
ファッションのポイント：ラクなカッコウ
美容室：フランク
今ハマッている事：貯金
好きな音楽：ジャズ、ロック
KOJI（21才）、大学３年生



上着：ショット
シャツ：クールプロス
パンツ：Bailey Stockman
シューズ：ハーレー
アクセサリー：ネイティブスピリッツ
好きな音楽：ロック、矢沢
ステッペンウルフ（グループ名）（53才）、タクシードライバー

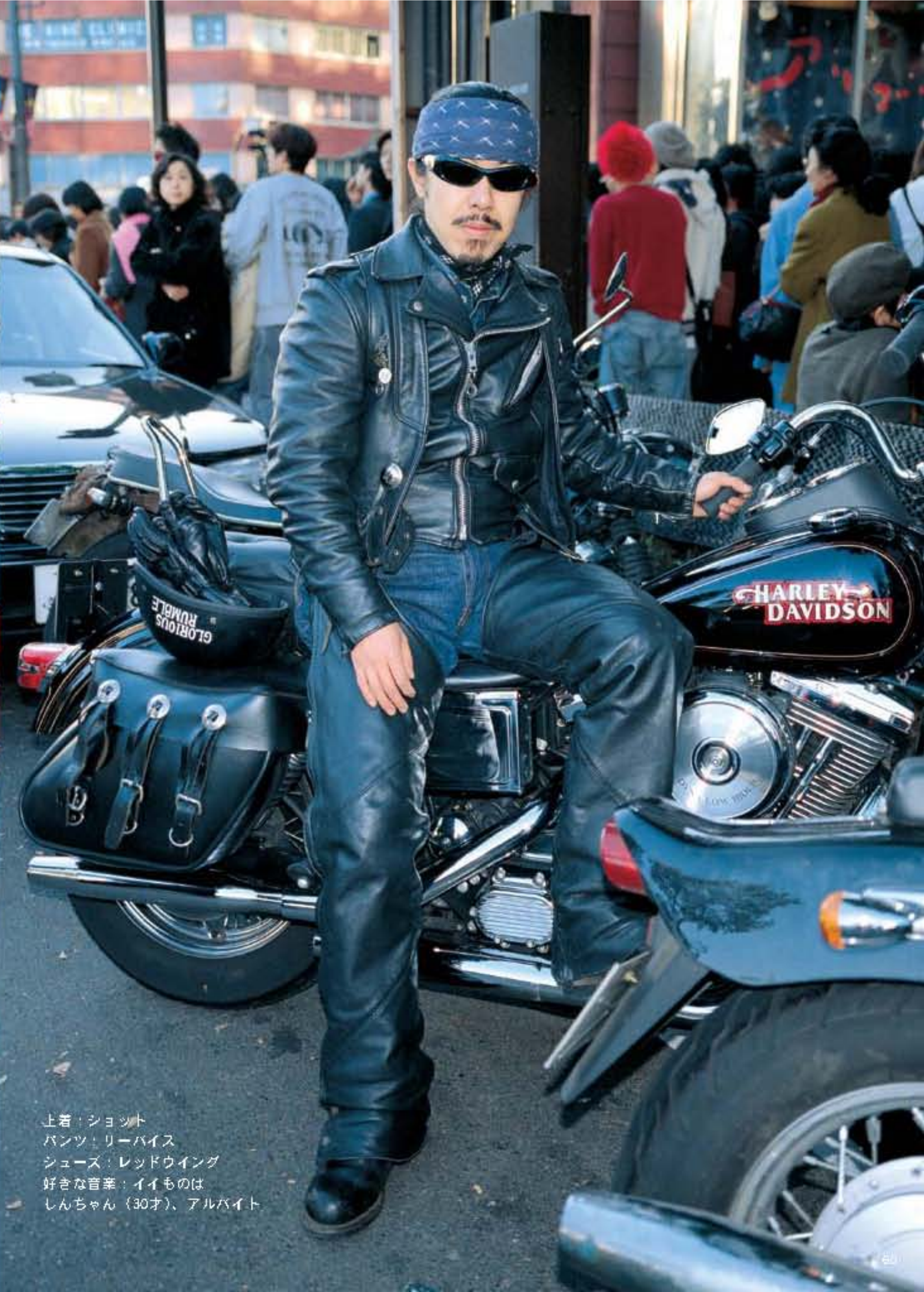


セーター：AT
パンツ：ギャルブランド
スカート：ジャンコロナ
シューズ：バニスター
バッグ：ジャンコロナ
ファッションのポイント：赤アソビ
美容室：いろいろ
りょう（18才）、高校生



上着：パタゴニア
パンツ：chichi'sのかわパン
シューズ：レッドウイング
アクセサリー：アリゾナフリーダム
ファッションのポイント：とにかく寒くなく
美容室：自分
好きな音楽：自分の歌
タッチャン（22才）、フリーター

上着：古着
セーター：古着
パンツ：シマロン
シューズ：アニエス
アクセサリー：手づくり
バッグ：ヘンプ
ファッションのポイント：だん色系
美容室：アナザーワールド
今ハマッている事：貯金
好きな音楽：何でも
美保（26才）、販売



上着：ショット
パンツ：リーバイス
シューズ：レッドウイング
好きな音楽：イイものは
しんちゃん（30才）、アルバイト



セーター：W&LT あきおくんプレゼント
ブラウス：MILK
スカート：W&LT あきおくんが買ってくれた
シューズ：自作
ファッションのポイント：かわいく全身W&LT
美容室：ファイバーズーム今は自分で
今ハマッている事：あきおくん、写真とること
好きな音楽：スカ
むっちゃん（21才）、美容専門学校生

上着：W&LT
セーター：W&LT
シャツ：W&LT
パンツ：W&LT
シューズ：W&LT（ワニ）
バッグ：W&LT（電気ノコギリ）
ファッションのポイント：いかつく
美容室：Fiber zoom
今ハマッている事：むっちゃん
好きな音楽：テクノ、パンク
アキオ（19才）、フリーター



大阪 Style

ジャケット：パパリンの♡
シャツ：無国籍で
スカート：無国籍で
シューズ：南港で
バッグ：ママリンのおさがり
帽子：チンク
ファッションのポイント：そのへんのんで
美容室：Air feels
今ハマッている事：ペコC集め♡
好きな音楽：フリッパーズギター
さちよ（16才）、高校生



上着：セーラー
パンツ：カシャカシャ
シューズ：ヴィヴィアン
アクセサリー：ヴィヴィアン
ファッションのポイント：1年前のかっこうです
美容室：彼女
今ハマッている事：バンド
好きな音楽：メタル
ヒコ（20才）、専門学校生



セーター：Jane Marple
シャツ：Jane Marple
スカート：Jane Marple
シューズ：Jane Marple
バッグ：てづくり
ファッションのポイント：あたまをこってみた
美容室：ファイバーズーム、色は自分で
今ハマッている事：一人ぐらし
好きな音楽：ロリータ18号
むっちゃん（21才）、専門学校生

タンクトップ：W&LT
セーター：おにいちゃん
スカート：手作り
シューズ：ベランダのつっかけ
バッグ：カンビバック
ファッションのポイント：つっかけ
美容室：バゴッツ
今ハマッている事：お泊まり会
好きな音楽：タマちゃんのおうた
なほ（17才）、専門学校生



コート：アリス アウアア
パンツ：アリス アウアア
シューズ：ベリーボタン
バッグ：J.Pゴルチエ
ファッションのポイント：黒ちっく
美容室：アキラ＆マドリン
今ハマッている事：メイク
好きな音楽：ハッピーとか
P-スケ（19才）、無職

コート：DELINQUENT Girl
スカート：アリス アウアア
シューズ：めいぜん（じもとの高校）
ファッションのポイント：ロンドン娘
美容室：しょうらい美容師をめざす、おとめのムネヒサがしてくれた
今ハマッている事：バービィ♡バレリーナ
好きな音楽：ピチカートとか
ロンドン娘のしょうこ（16才）、フリーター

Alice Auaa のショー会場で.



上着：thieves
パンツ：LOLLI POP ADDICT
シューズ：コンバース
ゆびわ：自作
ファッションのポイント：エロガッパ
美容室：遊人
今ハマッている事：エロ系
好きな音楽：黒夢、ダニュウツール、マンソン
たかゆき（19才）、大学生



上着：アリス アウアア
シャツ：アリス アウアア
パンツ：アリス アウアア
シューズ：ロボット
バッグ：ビューティービースト
帽子：アリス アウアア
ファッションのポイント：ボロ
美容室：ファイバーズーム
今ハマッている事：バンド
好きな音楽：なんでも
かおる（16才）、高校生

コート：アリス アウアア
シャツ：アリス アウアア
スカート：アリス アウアア
バッグ：J.Pゴルチェ
帽子：アリス アウアア
美容室：U2C
好きな音楽：ハードコア
たなか さえこ（16才）、高校生

コート：アリス アウアア
パンツ：アルファスピン
シューズ：ジョージコックス
バッグ：ヒロミチナカノ
ファッションのポイント：コート
美容室：遊人
今ハマッている事：なし
好きな音楽：いろいろ
トシくん♡（18才）、高校生

Alice Auaa のショー会場で。



コート：Alice Auaa
上着：Alice Auaa
シューズ：ブレゴ
バッグ：ゴルチェ
ファッションのポイント：マフユ
美容室：自分
今ハマッている事：しゅう
好きな音楽：オルタナ、ホラー
Saki（18才）、短大生

コート：Alice Auaa
上着：Alice Auaa
シューズ：ブレゴ
帽子：Alice Auaa
ファッションのポイント：真冬
美容室：自分
今ハマッている事：さき
好きな音楽：アツーいの
しゅう（19才）、大学生

Alice Auaa のショー会場で。



上着：チャオパニック
スカート：フリマ
パンツ：ピカデリー
シューズ：アディダス
バッグ：ヒステリックグラマー
帽子：古着や
美容室：アースギャラリーのカットモデル
好きな音楽：ハッピーハードコア
ユカリン（19才）、短大生

上着：こうがした
シャツ：もらったヒス
パンツ：CIMARRON
シューズ：みかの
メガネ：ビビ
ファッションのポイント：とりあえずねむい
美容室：しぶや
今ハマっている事：雅治
ユキ（20才）、大学生



Alice Auaa のショー会場で，（デザイナーの船越さんと店長の森本さん）



上着：ワカラナイ
シャツ：チャンピオン
パンツ：ヒステリック
シューズ：プーマ
アクセサリー：クロムハーツ
ファッションのポイント：てきとう
美容室：ラーバージュムーア
今ハマッている事：ドリームキャスト
好きな音楽：R AND B とJUDY AND MARY
リョウスケ（23才）、レコード屋



セーター：古着（Harf fish）
ブラウス：ハーフフィッシュ
スカート：手づくり
ファッションのポイント：800円でつくったの
美容室：姉のマナミ
今ハマッている事：めいそう
好きな音楽：なまえしらない
あーたん（17才）、高校生



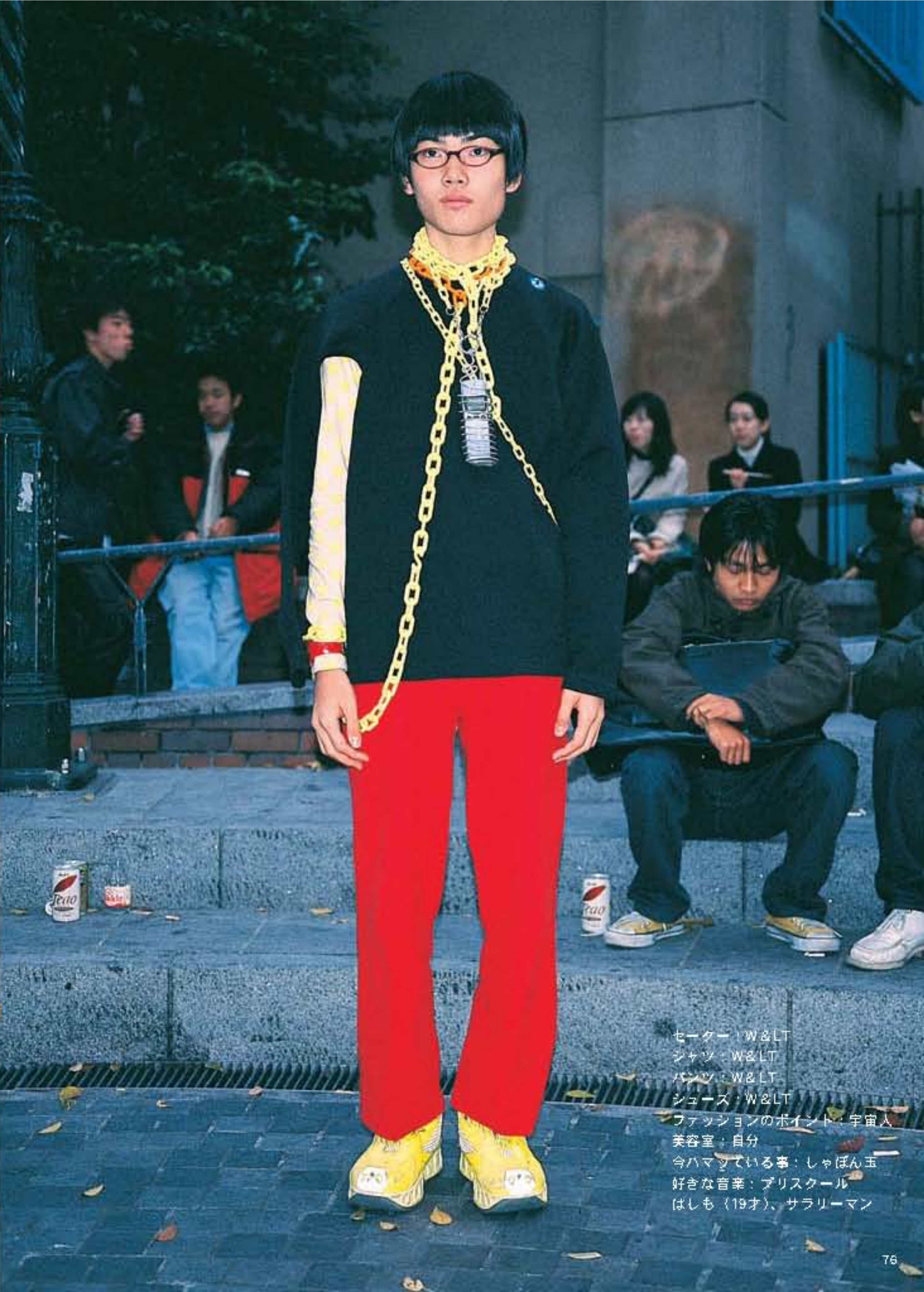
ベスト：20471120
シャツ：20471120
パンツ：20471120
シューズ：20471120
バッグ：20471120
リストバンド、ボディーパーツ：20471120
ファッションのポイント：20471120っ子
美容室：Je'suis
今ハマッている事：アルバイト
好きな音楽：メロアコ
☆王子☆（18才）、専門学校生

セーター：20471120
パンツ：20471120
シューズ：20471120
リストバンド：20471120
バッグ：20471120
ファッションのポイント：動きやすい
美容室：Fiber Zoom
今ハマッている事：ビラクバリ
好きな音楽：メロコア
マユ（17才）、高校生



アメ村の洋食屋さん「ピオラ」。とてもオイシイ。


HONDA



セーター：W&LT
シャツ：W&LT
パンツ：W&LT
シューズ：W&LT
ファッションのポイント：宇宙人
美容室：自分
今ハマッている事：しゃぼん玉
好きな音楽：ブリスクール
はしも（19才）、サラリーマン



上着：W&LT
パンツ：古着
シューズ：　チモン
アクセサリー：　ドール、リカ
ファッションのポイント：おもちゃ
美容室：遊人
今ハマッている事：編み物
好きな音楽：ハードコア系
おばちゃん（18才）、フリーター
ジャンパー：古着屋で買った。
パンツ：Bigアップルという店のバギーパンツ
シューズ：コンバースめいさい
ファッションのポイント：今日つけたエクステンション
美容室：ワールドオブビジョン
今ハマッている事：たかゆきといっしょでエロ系
好きな音楽：ハッピーハードコア、ニューエナジー
ハルチャン（19才）、専門学校生



ジャンパー：？（安物）
シャツ：W&LT
パンツ：バイナリー
シューズ：ミホマツダ
ファッションのポイント：きれいな色
美容室：ワールド オブ ヴィジョン
今ハマッている事：チラシ配り
好きな音楽：hide、黒夢
ナオト（19才）、大学生



LONDON STREET FASHION
NEW-YORK STREET FASHION
VIVIENNE WESTWOOD PARTY

発売中（毎月12日発売）

FRUiTS

次号予告
2月23日
発売予定
内容未定

Fruitsは月刊です。
毎月23日に
発売です。
(一部、地域によって異なります)

こんなページを
作ってほしい
こんな企画を
してほしい
募集

全国ローカル情報
募集
(ここに来て、とか
おしゃれスポットはここ、とか
オモシロイお店がある、とか
取材のとき食べるおいしいお店は
ここ、みたいな!)

こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
今これに注目とか、
ニュース募集
(今現在、デザイナー様やショップから
プレスリリースを頂いたりしておりますが、
編集企画が合った場合のみご連絡させて
いただきます。ご了承ください。)

載っている服は、
今販売していないこと
の方が多いと思います
ので、メーカーに
問い合わせる際は、
ご注意ください。

アンケートは、
自己申告をそのまま
掲載していますので、
まちがっていることも
あります。

バックナンバー
No.1〜18は、
売り切れ
となりました。
ごめんなさい。

編集部へのお便り等は、
住所をまちがえないよう
気をつけてね。
(恵比寿西です。)

EDIT: Noriko KOJIMA
編集発行人・青木正一
発行所・ストリート編集室
東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F 〒150-0021
Tel.(03)3463-2190 Fax.(03)3463-2191
THE STREET EDITORIAL OFFICE
1-16-8-5F, EBISU-NISHI, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN